

第5章 バリアフリーの更なる加速化

5-1. 整備方針

(1) 整備方針

基本方針に基づき、重点整備地区内外の整備方針を以下のとおりとし、バリアフリーの更なる加速化を図ります。

整備方針① これまでの重点整備地区の整備方針

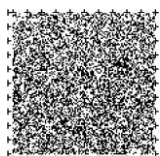
⇒5つの総合支所を中心とした重点整備地区の中でバリアフリー化に継続して取り組むとともに、短期・中期・長期で具体的な特定事業を定めます。

整備方針② 新たな重点整備地区の整備方針

⇒高輪ゲートウェイ駅及び虎ノ門ヒルズ駅周辺は、開発の進捗にあわせ新たな重点整備地区に指定し、特定事業を定め、バリアフリー化に取り組めます。

整備方針③ 重点整備地区以外の整備方針

⇒重点整備地区以外の地域についても、国が示す「移動等円滑化の促進に関する基本方針」及び「建築物移動等円滑化誘導基準」や「道路移動等円滑化基準」等の各施設における基準に適合した施設整備や維持が必要であるため、区の全域にわたって、各地区総合支所を中心に各事業者等が地域のニーズや特性を踏まえ、バリアフリー化を推進します。



(2) 重点整備地区とは

重点整備地区は、バリアフリー法における配置要件、課題要件、効果要件の3つの法的要件に基づき、区内のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するための7つの特定事業計画を進める地区です。

区では、旅客施設を中心に通常徒歩で移動する500m～1,000m圏を範囲として、平成19(2007)年の交通バリアフリー基本構想策定時に各地区総合支所を含む浜松町駅、赤坂駅、六本木駅、白金高輪駅、田町駅の5つの駅周辺を重点整備地区と定めています。

重点整備地区の法的要件（バリアフリー法第2条第24号イ～ハ）

配置要件：生活関連施設（高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設）があり、かつ、それらの移動が通常徒歩で行われる地区

課題要件：生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区

効果要件：バリアフリー化の事業を重点的、一体的に行うことが総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切である地区

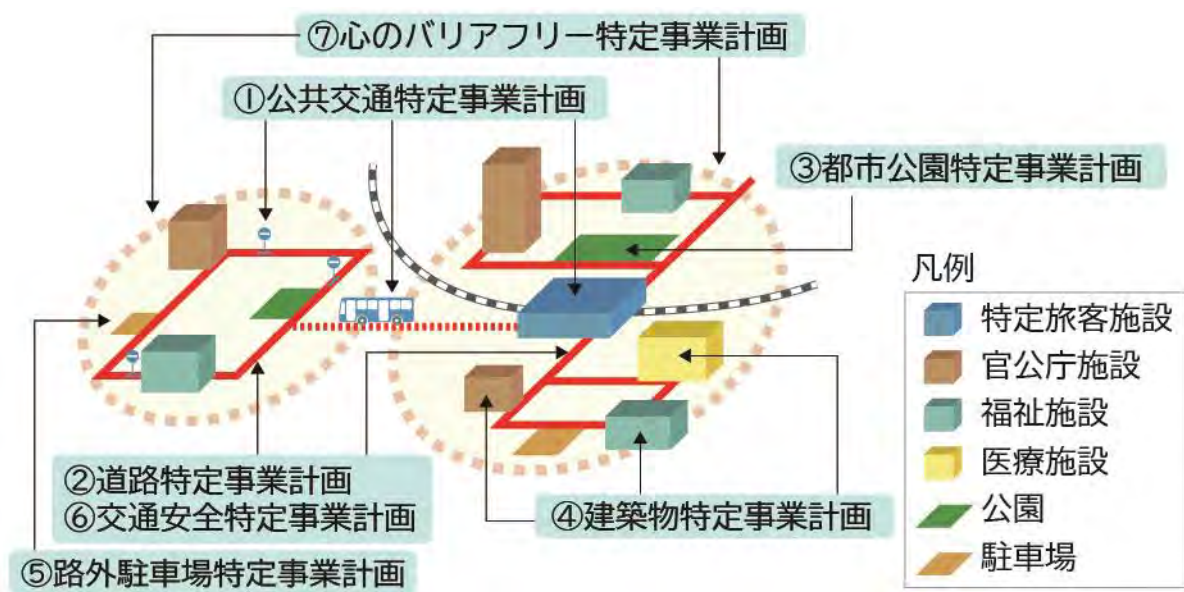
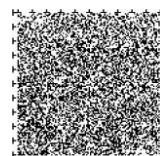


図 重点整備地区及び地区内の事業の種別



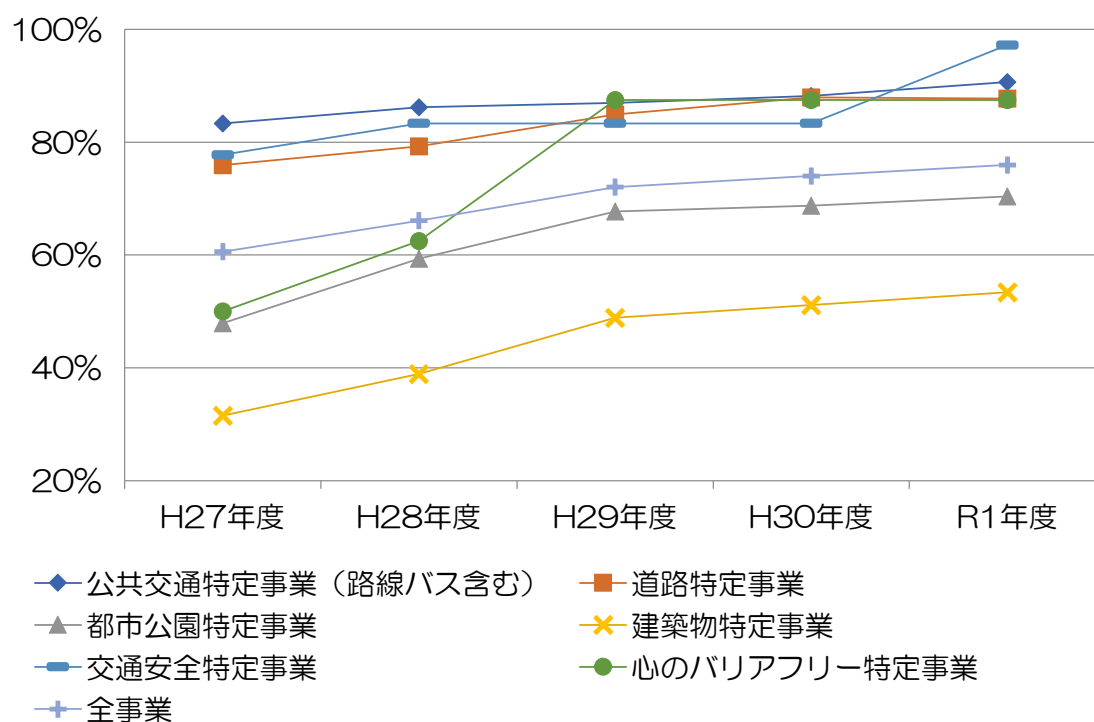
(3) 重点整備地区内の特定事業計画の進捗状況

①重点整備地区内の特定事業計画の進捗率の推移

重点整備地区内では公共交通事業者、公安委員会、道路・公園管理者、施設管理者が港区バリアフリー基本構想に沿ってバリアフリー化事業を進めるための特定事業計画を作成し、バリアフリー化を進めています。

特定事業計画の進捗は下図のとおりです。全事業の進捗率は令和元(2019)年度末で75.9%となっています。各特定事業で進捗率に違いがあり、公共交通、道路、交通安全、心のバリアフリーは80%を超える高い進捗率がみられますが、一方で建築物については事業を実施するためには大規模修繕が必要なものも多く、進捗率が他と比べて低い状況がみられます。

各特定事業において、国の示す基準やガイドライン等の改正、社会情勢や区民、利用者の意見・要望に対応した事業の追加検討が必要です。



進捗率 = (完了 + 継続実施中) / 事業数

進捗率は、各特定事業の事業数から、完了と継続実施中の事業を加え算出したものです。

図 重点整備地区の進捗率の推移

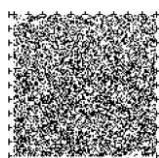


表 事業種別の特定事業計画の進捗状況

令和2(2020)年3月現在

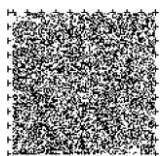
特定事業名	事業者 数	事業数	完了	継続 実施中	進捗率	(参考)	(参考)
						前年度 完了+継続	前年度 進捗率
①公共交通特定事業	8	247	100	124	90.7%	217	88.2%
②道路特定事業	3	261	41	188	87.7%	233	87.9%
③都市公園特定事業	2	98	33	36	70.4%	66	68.8%
④建築物特定事業	1	311	88	78	53.4%	159	51.1%
⑤交通安全特定事業	1	36	5	30	97.2%	30	83.3%
⑥心のバリアフリー特 定事業	1	8	4	3	87.5%	7	87.5%
合 計	16	961	270	459	75.9%	712	74.0%

※「進捗率＝(完了＋継続実施中)/事業数」進捗率は、各特定事業の事業数から、完了と継続実施中の事業(維持補修や不法占用等の撤去指導、接遇研修、利用者への人的対応や配慮など)を加え算出したものです。

表 重点整備地区別の特定事業計画の進捗状況

令和2(2020)年3月現在

重点整備地区名		事業者 数 (延べ)	事業数	完了	継続 実施中	進捗率	(参考)	(参考)
							前年度 完了+継続	前年度 進捗率
浜松町駅周辺		10	248	78	120	79.8%	191	77.6%
赤坂駅周辺		7	172	38	76	66.3%	112	65.1%
六本木駅周辺		6	115	34	68	88.7%	102	88.7%
白金高輪駅周辺		7	194	49	76	64.4%	125	63.8%
田町駅周辺		8	173	61	73	77.5%	130	74.7%
区内 全域	公共交通特定事業 (路線バス)	2	15	2	13	100%	15	100%
	交通安全特定事業	1	36	5	30	97.2%	30	83.3%
	心のバリアフリー特 定事業	1	8	4	3	87.5%	7	87.5%
合 計		42	961	270	459	75.9%	712	74.0%



（４）重点整備地区及び特定事業の追加・修正

重点整備地区の指定から10年が経過し、まちの変化や新たな施設の立地等、区の状態も変化しています。そのため、これまでの重点整備地区に加えて、新たな重点整備地区を指定するとともに、生活関連施設・経路及びその特定事業について追加・修正を行います。

これまでの重点整備地区の範囲について

アンケートでは、よく利用されている公共施設として、「区役所・総合支所」は高齢者、障害者、外国人、子育て中の親を問わず回答率の高い施設となっています。

また、特定事業計画の進捗率は100%に到達しておらず、また、進捗率の高い事業においても、バリアフリー法の改正等を踏まえた、更なる整備の推進が必要です。

このため、公共施設内で最も利用されている各地区総合支所を含むこれまでの重点整備地区の範囲を継続



新たな重点整備地区の 選定

駅の利用状況や要望等を踏まえ、新たに追加する必要のある重点整備地区の範囲を指定

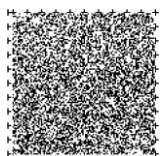
生活関連施設・経路の 設定

重点整備地区内の相当数の高齢者、障害者が利用する施設を生活関連施設に位置づけ、生活関連経路によるネットワーク化

特定事業の追加・修正

アンケートや事業進捗、評価に基づく現状の課題やバリアフリー法の改正による変更点等について整理して、追加・修正

図 重点整備地区の追加・修正について



5-2. 新たな重点整備地区

(1) 新たな重点整備地区の選定の考え方

新たに追加する重点整備地区の範囲の選定基準を設けます。追加にあたっては、これまでの港区バリアフリー基本構想の評価指標とは別に新たな視点を追加した選定フローを設定します。

(2) 選定フローに追加した新たな視点

①夜間と昼間を考慮したバリアフリー整備による影響度の評価

これまでは、「バリアフリー整備による影響度」を地区に関わる影響人口規模として、区内在住の多くの方が利用しやすいように「夜間人口」と「高齢者人口」で評価していました。一方で、生活関連施設である旅客施設や公共公益施設は日中に利用される施設であり、区外からも多様な方が訪れるまちのため、昼間の人の移動の評価を追加します。

【評価に追加する視点】

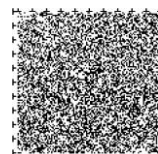
- 「バリアフリー整備による影響度」に、駅周辺エリアの評価として、鉄道の利用者数による評価
- 「配置要件」の「旅客施設の立地状況」として、生活関連施設の最寄りの駅へのアクセス性となる路線数を考慮した旅客施設の立地状況による評価

②官民連携を図るためまちの変化に対応した効果要件の評価

これまでは、「効果要件」を港区や東京都の自治体の事業である「まちづくりとの一体性を図る都市計画道路整備計画、無電柱化計画等」で評価していました。より効果的なまちづくりに向けて官民連携によるバリアフリー化の推進を図るための評価を追加します。

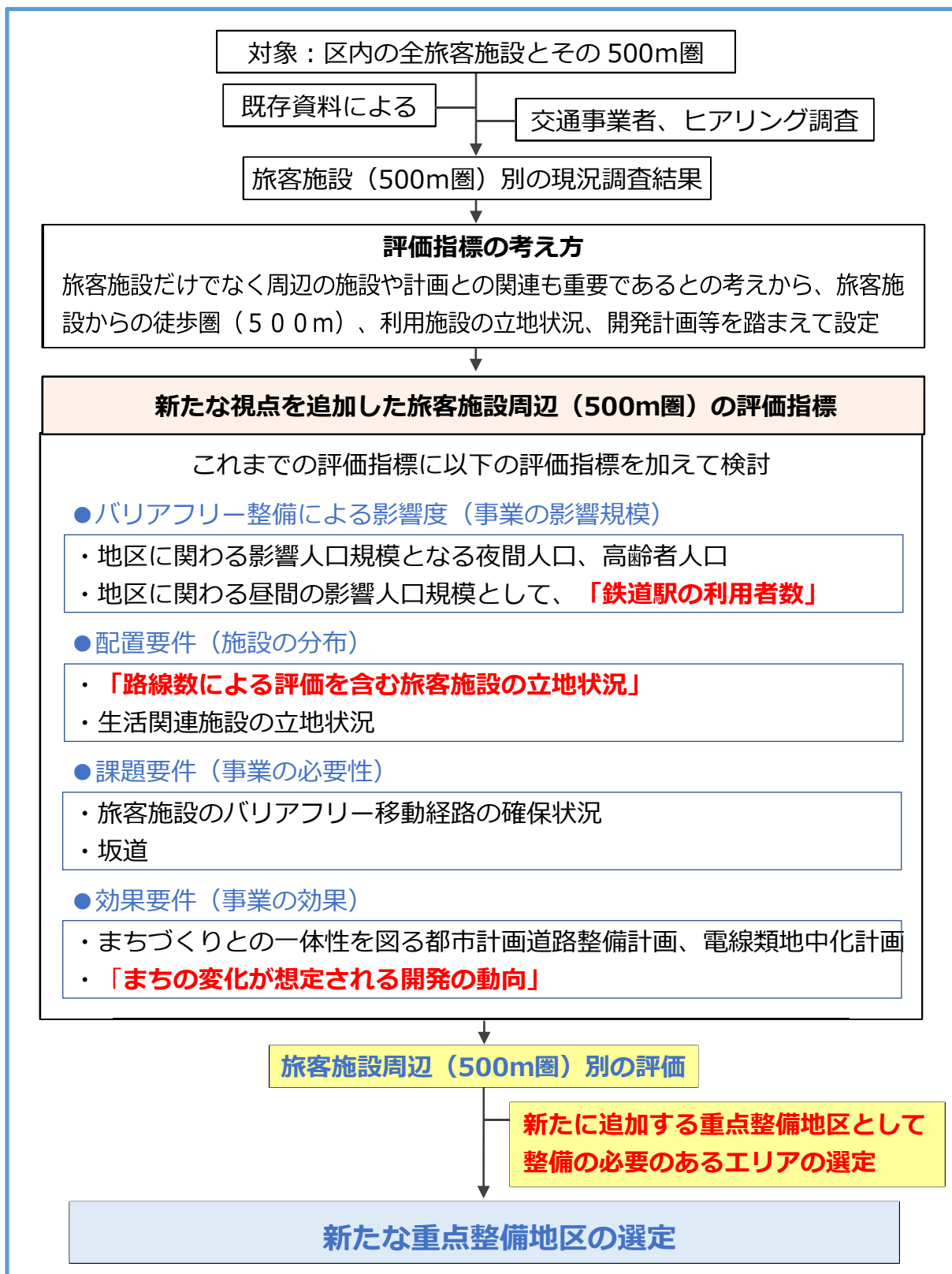
【評価に追加する視点】

- 「効果要件」として、今後、高輪ゲートウェイ駅及び虎ノ門ヒルズ駅の立地に伴う急速なまちの変化が想定される開発の動向があるエリアを考慮した評価

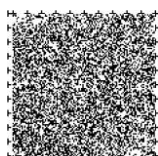


(3) 新たな重点整備地区の選定フロー

新たな視点を追加した選定フローは以下のとおりです。



※赤字は新たに港区バリアフリー基本構想に追加した項目を示す



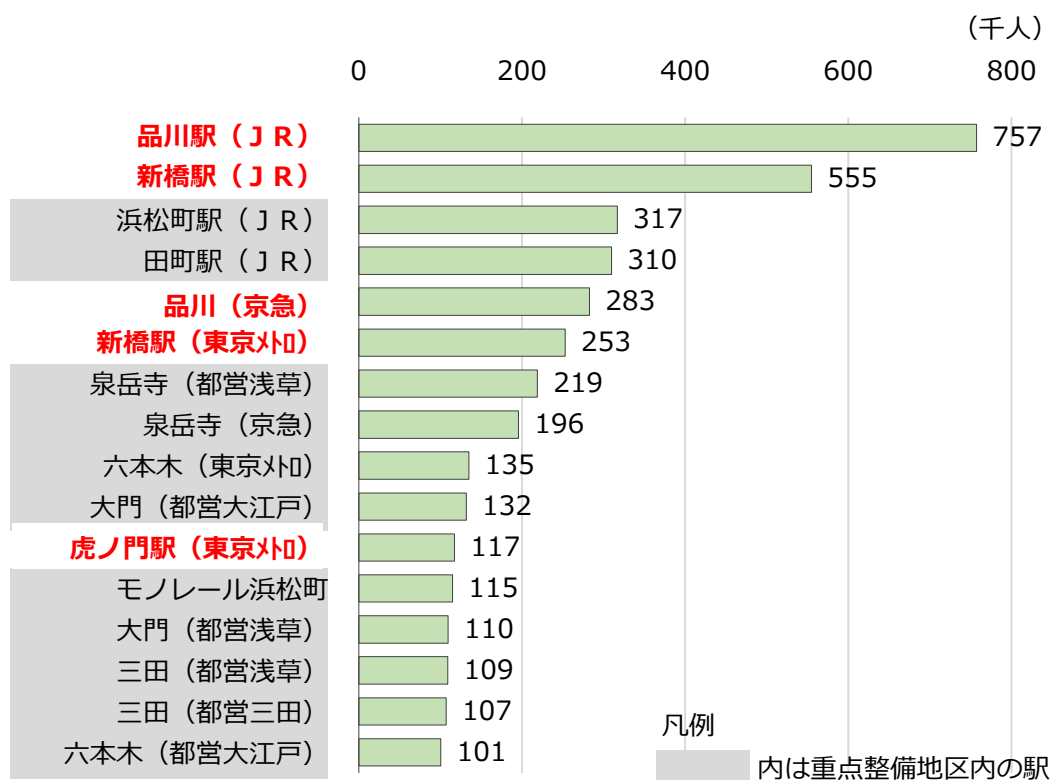
(4) 港区の現状の整理

新たな重点整備地区の範囲の選定にあたり、重点整備地区の選定基準として以下の項目について、港区の現状を整理しました。

- ▶ 鉄道駅の利用状況
- ▶ 生活関連施設の立地状況
- ▶ まちづくりの動向

① 鉄道駅の利用状況

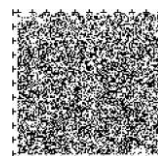
これまでの重点整備地区では、浜松町駅や田町駅、六本木駅等の利用者数の多い10万人以上の駅は大半が含まれていますが、特に利用者の多い品川駅や新橋駅は含まれていません。



凡例: はこれまでの重点整備地区内の駅

図 1日の乗降者数（平成 29（2017）年の1日10万人以上が利用する駅）

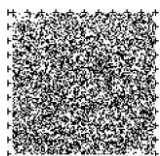
出典 東京都統計年鑑

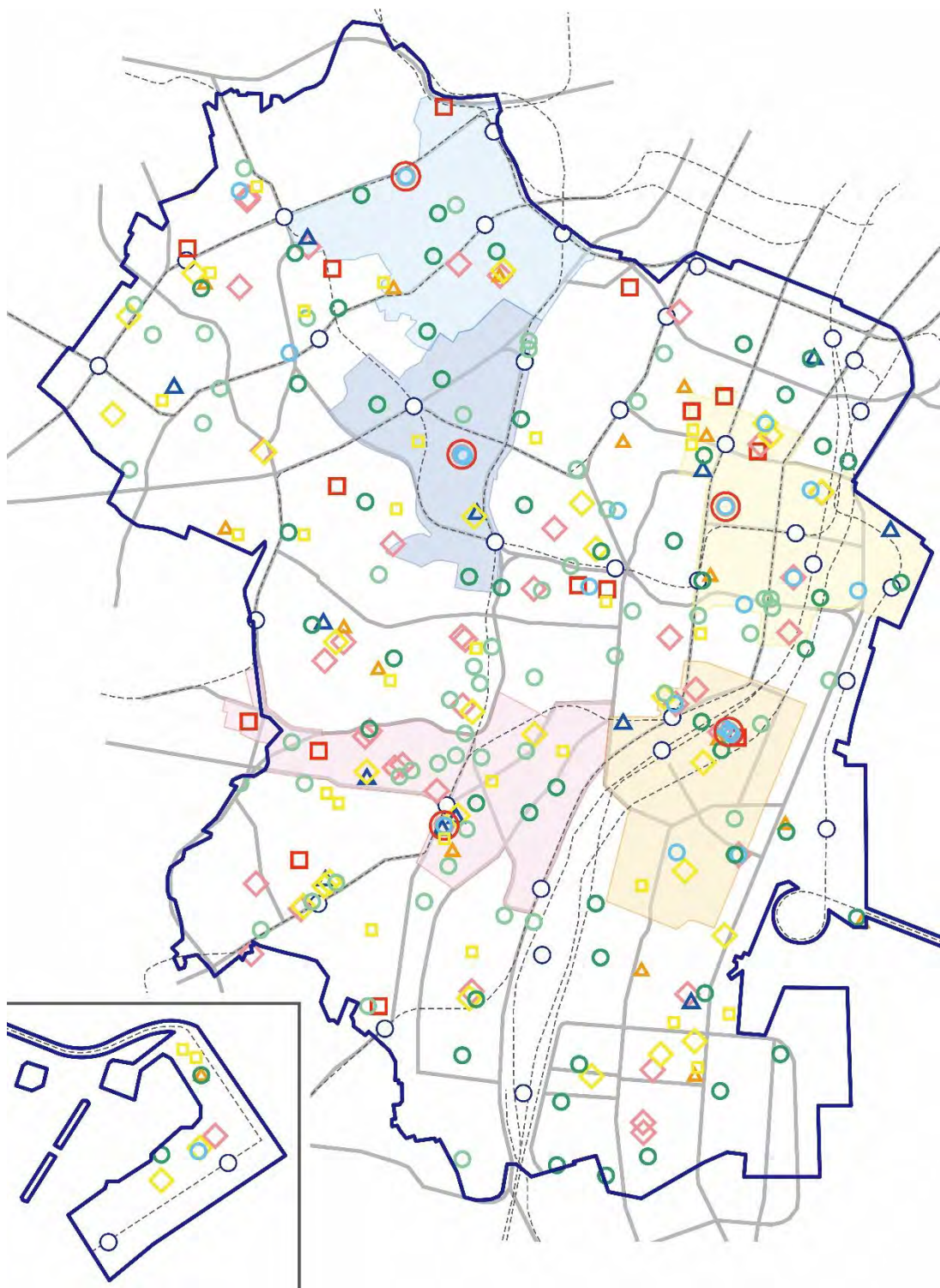


②生活関連施設の立地状況について

区の生活関連施設の立地状況は以下のとおりです。

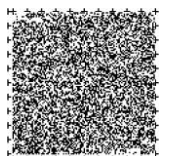
- | | |
|-------------|---|
| 旅客施設 | 旅客施設の立地状況では、複数の路線及び鉄道事業者が乗り入れている品川駅(路線数 7)、新橋駅(路線数 6)はこれまでの重点整備地区に含まれていません。 |
| 公共公益 | 総合支所をはじめ、主な公共公益施設はこれまでの重点整備地区に含まれています。 |
| 公園 | アンケート結果によると、利用者が比較的多い公園は、芝公園、檜町公園、芝浦公園、網代公園、白金公園であり、これまでの重点整備地区に含まれています。 |
| 文化 | 主な文化施設は現状の重点整備地区に含まれています。区立の図書館では港南図書館以外はこれまでの重点整備地区に含まれています。 |
| 福祉 | 区全体に立地しており、一定の施設がこれまでの重点整備地区に含まれています。 |
| 子育て | |
| 医療 | |
| 運動 | |
| その他 | 港区の特徴である運河では、遊歩道の整備や舟運の機運が高まっています。これまでの重点整備地区では、高浜運河は含まれていません。 |





- | | | |
|----------|------------|----------|
| ○ 旅客施設 | ○ 主要公共福祉施設 | △ 主要運動施設 |
| ○ 総合支所 | ◇ 主要福祉施設 | △ 主要文化施設 |
| ○ 児童遊園施設 | ◇ 主要子育て施設 | □ 主要医療施設 |
| ○ 公園施設 | □ 主要学校施設 | |

図 港区の生活関連施設の立地状況

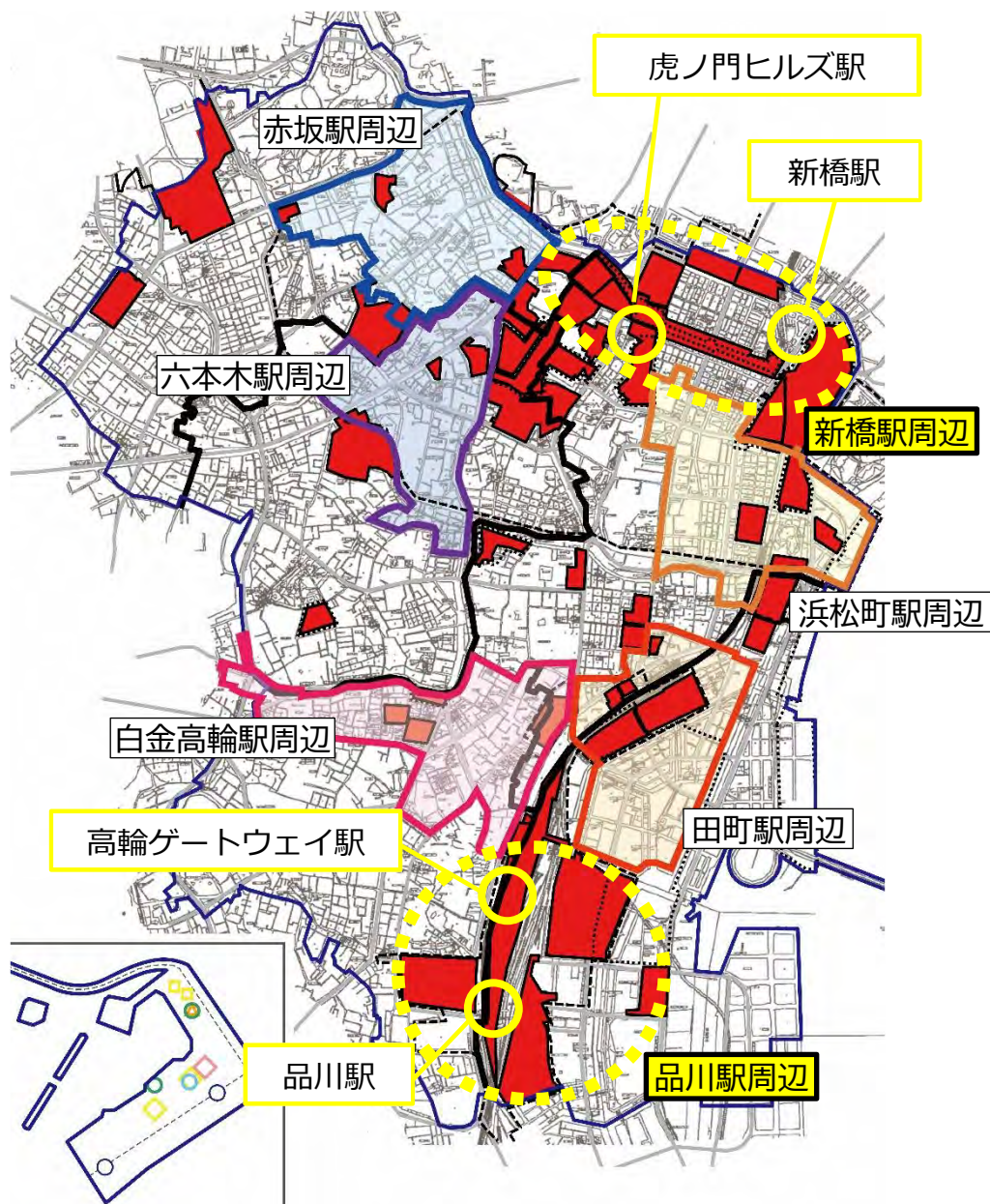


③まちづくりの動向と重点整備地区の関係

港区は開発が多く行われていますが、一定の範囲はこれまでの重点整備地区に含まれています。一方で今後、開発が行われている、または行われると想定される六本木一丁目駅や品川駅、虎ノ門駅、新橋駅の周辺は重点整備地区に含まれていません。

旅客施設では、令和2(2020)年に高輪ゲートウェイ駅と虎ノ門ヒルズ駅の2つの駅が開業したことで、それに伴うまちなみの変化が想定されます。

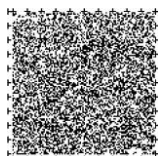
また、品川駅の北側は品川車両基地や鉄道線路により分断されているため、東西のネットワーク化が予定されています。



凡例： は都市計画決定による街づくり地区

図 港区の開発の状況

出典 令和2年度(2020年度)版 事業概要 港区の街づくり



④現況のまとめ

以下の現状を踏まえて、新橋駅周辺と品川駅周辺を新たな重点整備地区とします。

- ・ 鉄道駅の利用状況により、区内で利用客数の最も多い旅客施設である、品川駅や新橋駅を含むエリアの指定が必要です。
- ・ 高輪ゲートウェイ駅、虎ノ門ヒルズ駅の開業にあわせ、これらの駅周辺の開発が進むことでバリアフリー基盤の整備が進んでいきます。
- ・ 虎ノ門ヒルズ駅では、東京BRT(バス高速輸送システム)の拠点として、虎ノ門バスターミナルが開業しました。
- ・ 新橋駅近辺は公共施設が少ない一方で、重要な医療施設である虎ノ門病院が存在することや、隣接する重点整備地区内の施設との経路連携が必要です。
- ・ 品川駅の東側には、子育てや高齢者向けの施設、公園等の公共施設が多数立地しています。
- ・ 品川駅周辺は憩いや交通の拠点として、運河へのアクセス性の向上が必要です。
- ・ 高輪ゲートウェイ駅の開業に伴い、品川車両基地や鉄道線路により分断されている東西のネットワーク化が進みます。

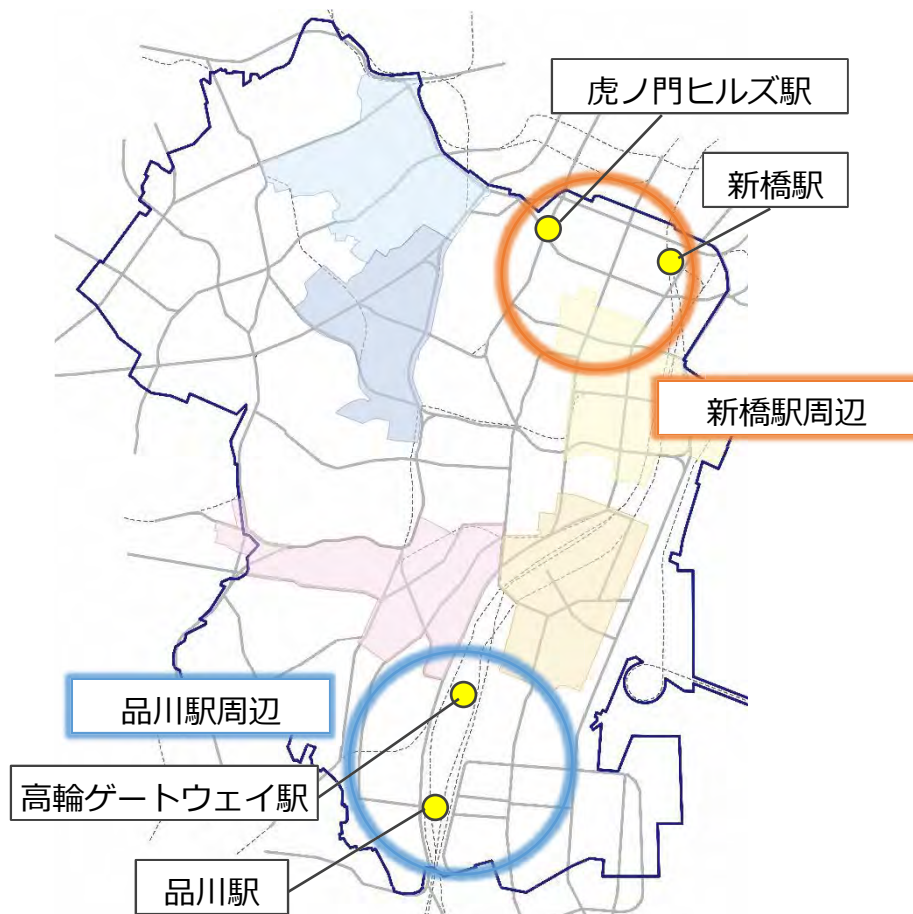
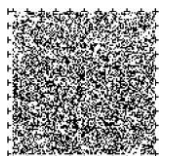


図 新たな重点整備地区のエリア



(5) 新たな重点整備地区

新たな視点を追加した選定フローに基づき、新橋駅、品川駅周辺を重点整備地区に追加します。

①新橋駅周辺重点整備地区

ア) 上位関連計画の位置づけ

「港区まちづくりマスタープラン」において、新橋駅及び虎ノ門ヒルズ駅周辺では、以下の目標が掲げられています。

【芝地区-新橋地域】

・多様な商業・業務機能と住宅との共存

多様な商業・業務機能の集積と、高齢者をはじめ様々な人が住み続けられる多様な住宅との共存を図るなど、安全・安心なまちづくりを推進します。

● バリアフリー化のポイント

- ⇒活発な商店街活動が行われているエリアの歩行空間の利便性の向上
- ⇒各路線の乗継ぎ利便性の向上を推進
- ⇒環状第2号線(新虎通り)周辺の都市計画を活用した市街地の更新

【芝地区-虎ノ門地域】

・交通機能の拡充を契機とした国際ビジネス交流拠点の形成

民有地を活用した既存駅舎改修や地下鉄新駅整備等の交通機能の拡充等を契機として、複数の大規模な開発事業等の連携により市街地環境の質を向上させ、国際的なビジネス・交流拠点を形成します。

● バリアフリー化のポイント

- ⇒地下鉄虎ノ門ヒルズ駅の開業及び駅周辺の都市開発諸制度を活用した市街地の更新
- ⇒BRT のための虎ノ門バスターミナルの開業
- ⇒各路線の乗継ぎ利便性の向上を推進

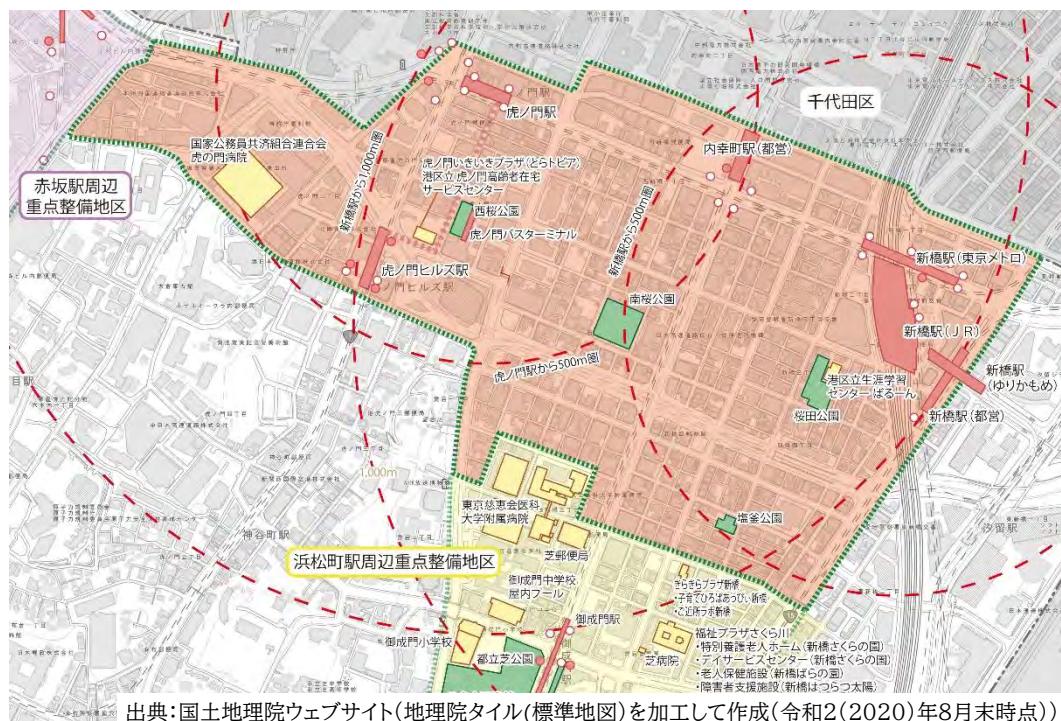


図 芝地区の位置づけ

出典 港区まちづくりマスタープラン

イ) 新橋駅周辺の位置づけ

以下の上位関連計画の位置づけ及び現況を踏まえ、新橋駅及び虎ノ門駅及び虎ノ門ヒルズ駅周辺を重点整備地区の範囲に位置づけます。



【鉄道駅の利用状況について】

新橋駅は JR、東京メトロ、都営地下鉄、ゆりかもめの4路線の乗り換えが可能であり、港区において利用者数が2番目に多く97万人(各路線の利用者数の合計(出典 東京都統計年鑑))が利用しており、重点整備地区の中心となる旅客施設です。

【生活関連施設の立地状況について】

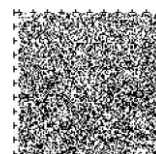
新橋駅周辺は公共施設が少ないですが、重要な医療施設である虎ノ門病院があり、虎ノ門ヒルズ駅周辺では、東京BRTの拠点として、虎ノ門バスターミナルが開業しました。

また、隣接する浜松町駅周辺重点整備地区には、新橋駅に近い北側に子育て施設が立地しており、新橋駅と虎ノ門駅周辺や浜松町駅周辺重点整備地区の生活関連施設との連続性のあるバリアフリーの整備が必要です。

【今後のまちづくりの動向・バリアフリー化の要望状況】

虎ノ門駅周辺では日比谷線の虎ノ門ヒルズ駅が令和2(2020)年6月6日に開業しました。そのため、新橋駅と虎ノ門ヒルズ駅間においては、特に開発によるまちの変化が想定されるため、両駅間のバリアフリーの整備が必要です。

また、新橋駅周辺は商業施設が集積した地域で歩道上には看板等も多く、煩雑な街並みとなっており、港区バリアフリー基本構想推進協議会、同地区部会においても区民委員より重点整備地区への選定の要望があります。



②品川駅周辺重点整備地区

ア) 上位関連計画の位置づけ

「港区まちづくりマスタープラン」において、品川駅及び高輪ゲートウェイ駅周辺では、以下の目標が掲げられています。

【高輪地区】

・品川駅及びJR新駅周辺における国際的な新拠点の形成

広域的な交通結節拠点となる品川駅及びJR新駅周辺においては、基盤整備と多様な都市機能の集積を誘導し、東京の南の玄関口としてふさわしい世界に開かれた国際的なまちづくりを推進します。

・地域交通の利便性の向上

公共交通網の充実やバリアフリーの推進等、多様な手段の活用により地域交通の利便性を向上させます。

・都市計画道路の整備推進

環状第4号線等の都市計画道路の整備を推進するとともに、道路沿道と周辺地域とが一体となったまちづくりを推進します。

● バリアフリー化のポイント

- ⇒品川駅及び高輪ゲートウェイ駅周辺における国際的なまちづくりに対応した基盤整備
- ⇒バリアフリーの推進による地域交通の利便性
- ⇒都市計画道路の整備による歩行者ネットワークの整備

【芝浦港南地区】

・品川駅及びJR新駅周辺における国際的な新拠点の形成

広域的な交通結節拠点となる品川駅周辺においては、多様な都市機能の集積を図るとともに、駅前及び周辺の交通の円滑化を図り、国内外からの旅行者等の幅広い利用者の利便性を向上させます。

・快適で移動しやすい交通環境の整備

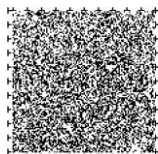
JR線東西方向などにおいて、道路及び歩行者ネットワークの形成とともに、地域特性を生かした舟運の活性化を図るなど、地域内・地域間交通の利便性を向上させます。

・水辺空間を生かした魅力的なまちづくり

運河や海等、水辺空間を生かした活気ある魅力的な市街地の形成と観光地としての魅力の向上を図ります。

● バリアフリー化のポイント

- ⇒品川駅を中心とした公共公益施設へのアクセス性の向上
- ⇒JR線東西方向の移動及び舟運の活性化を想定した水辺に向かう道路の歩行者ネットワークの形成



【高輪地区】



【芝浦港南地区】



【凡例】

方針1 土地利用・活用(品川駅西側)

- まとまった良好な住宅市街地
- 住宅と商業・業務などが共存する市街地
- 業務・商業・文化・交流施設を中心とした市街地

方針1 土地利用・活用(品川駅東側)

- 業務・商業・文化・交流施設を中心とした市街地
- 集合住宅と商業・業務をはじめとした多様な機能が共存する市街地

方針2 住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

- 活発な商店街活動が行われているエリア

その他

- 都市計画を活用した市街地の更新
- まちづくり活動が行われている地域
- 主な公園・緑地など
- JR線(= 移設前)
- 私鉄・地下鉄線
- 区界・各総合支所境界線

方針3 道路・交通

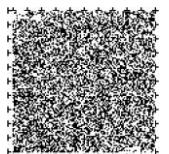
- 乗継ぎ利便性の向上を推進する交通結節拠点
- 都市計画道路(完成)
- 都市計画道路(早期に整備する部分)
- 都市計画道路(未完成)
- 都市計画道路(構想線)
- 駅周辺の主な都市基盤整備
- バリアフリー化など先導的に歩行環境の充実を図る地域(バリアフリー重点整備地区)
- リニア中央新幹線
- 整備について検討すべき路線

方針4 緑・水

- 緑の拠点
- 水の拠点

図 高輪地区と芝浦港南地区の位置づけ

出典 港区まちづくりマスタープラン



また、品川駅周辺では、「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2020」において、「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」の将来像として、以下の7つの戦略が設けられています。

【品川駅周辺地区】

・「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」の将来像に向けた7つの戦略

将来像に向けた以下の7つの戦略の内、「5.拠点性を高める道路ネットワークの構築」「6.活発な都市活動を支える快適な歩行者ネットワークの構築」については高輪地区と芝浦港南地区をつなぎ、地区全体のネットワークを形成するバリアフリー化に特に関連した戦略が設けられています。

- 1.世界から人・企業を集める企業誘致・MICEプロモーション
- 2.グローバルな活動拠点にふさわしい居住・滞在環境整備
- 3.世界に誇る活力と潤いのある景観・環境形成
- 4.広域アクセス性の効果を最大化する駅機能の強化
- 5.拠点性を高める道路ネットワークの構築
- 6.活発な都市活動を支える快適な歩行者ネットワークの構築
- 7.安全・安心な防災都市づくりの推進

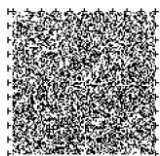
● バリアフリー化のポイント

- ⇒広域道路ネットワークを形成する環状第4号線の整備
- ⇒広域交通結節点形成に向けた駅前広場の機能分担
- ⇒品川駅の顔となるシンボル性の高い空間の整備
- ⇒円滑な地区内交通処理のため、開発と連携した地域内道路の整備
- ⇒地区内の東西の流動性を高める品川駅東西自由通路の整備
- ⇒民間開発と連携し、地区全体の回遊性を向上させる歩行者ネットワークの強化



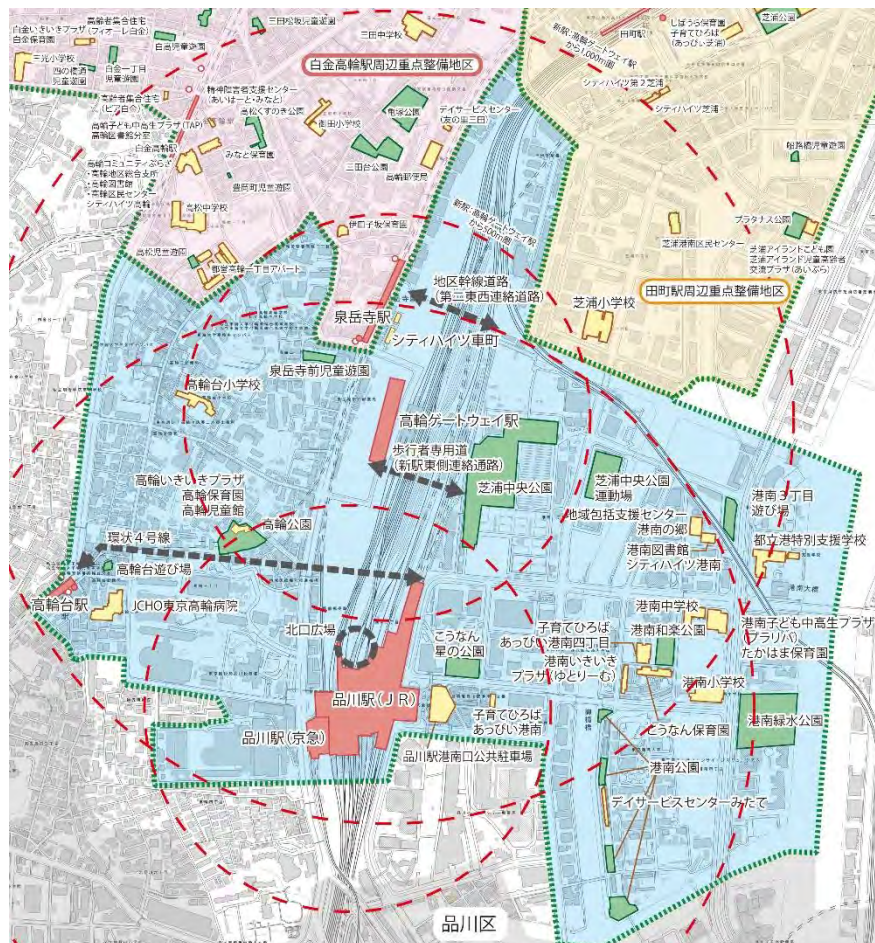
図 品川駅周辺地区の位置づけ

出典 品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン 2020



イ) 品川駅周辺の位置づけ

以下の上位関連計画の位置づけ及び現況を踏まえ、品川駅及び高輪ゲートウェイ駅周辺を重点整備地区の範囲に位置づけます。



出典:国土地理院ウェブサイト(地理院タイル(標準地図)を加工して作成(令和2(2020)年8月末時点))

【鉄道駅の利用状況について】

品川駅は羽田空港からのアクセスや新幹線の停車駅のため、観光客等の利用も非常に多い駅で、港区において利用者数が最も多く104万人(各路線の合計(出典 東京都統計年鑑))が利用しており、重点整備地区の中心となる旅客施設です。

【生活関連施設の立地状況について】

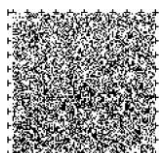
品川駅の周辺には、子育てや高齢者向けの施設、公園等の公共施設が多数立地しており、生活関連施設へのバリアフリーの整備が必要です。

【今後のまちづくりの動向】

高輪ゲートウェイ駅が令和2(2020)年3月に開業し、国道15号線(第一京浜国道)の東側にJR品川車両基地跡地の再開発の計画があり、まちなみが変わります。また、品川車両基地や各路線により分断されている東西のネットワーク化が図られていきます。

さらに、リニア中央新幹線の品川駅が令和9(2027)年に開業の予定、泉岳寺駅における将来需要を踏まえた駅の改良、京急品川駅における連続立体交差事業や駅総合改善事業による駅舎の改良が予定されています。

開発による都市基盤の整備に合わせ、周辺の施設間のバリアフリー化を進めていく必要があります。



5-3. 重点整備地区の一覧

港区バリアフリー基本構想では、これまでの5つの駅(浜松町駅・赤坂駅・六本木駅・白金高輪駅・田町駅)周辺重点整備地区を継承し、また、新たに2つの駅(新橋駅・品川駅)周辺を重点整備地区に指定します。

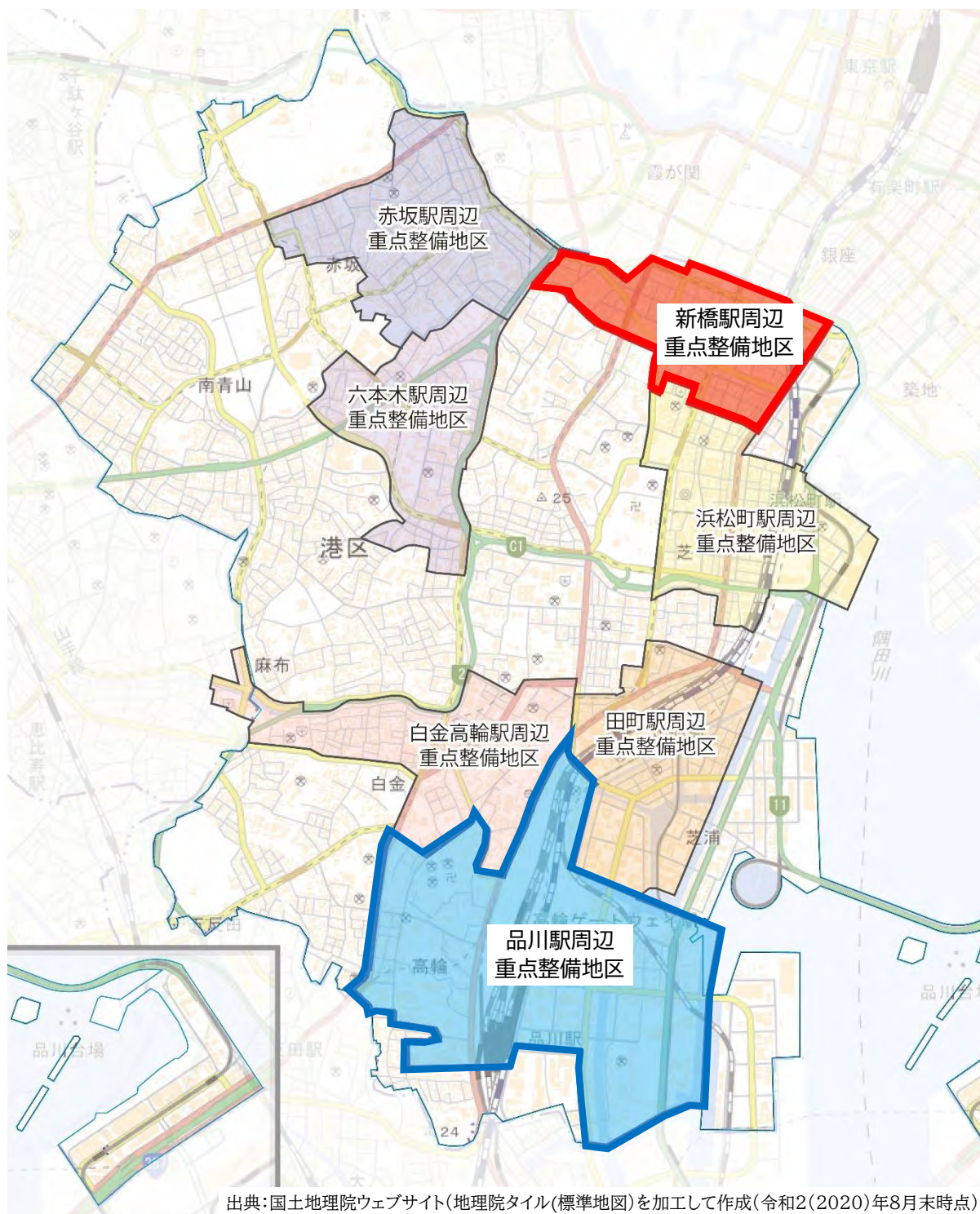
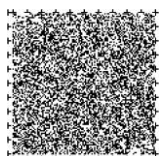


図 重点整備地区の範囲



（１）生活関連施設、生活関連経路選定の考え方

以下の生活関連施設の考え方に基づき、相当数の高齢者、障害者が利用する施設を生活関連施設に位置づけています。また、旅客施設を中心とした各生活関連施設までの経路を生活関連経路として位置づけています。

【生活関連施設選定の考え方】

○相当数の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用すると考えられる施設

- ・旅客施設（鉄道駅、バスターミナル、客船ターミナル）
- ・官公署（区役所、総合支所等）
- ・福祉施設（高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援等を含む児童福祉施設）
- ・医療施設（診療所を除く、救急病院や一般病院）
- ・文化施設（図書館、生涯学習センター等）
- ・その他の公共公益施設（郵便局、区民センター、集会施設、路外駐車場等）

○高齢者、障害者等を含めた区民の健康増進を支援する施設

- ・都市公園のうち比較的規模が大きな公園や児童遊園（面積 500 m²以上を基準とする）
- ・スポーツセンター、健康増進センター、プール等の運動施設

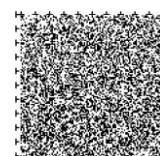
○特定多数の利用にとどまらない小学校や中学校

- ・教室や校庭が一般に開放されている区立の小学校及び中学校

これまでに策定していた浜松町駅周辺重点整備地区、赤坂駅周辺重点整備地区、六本木駅周辺重点整備地区、白金高輪駅周辺重点整備地区、田町駅周辺重点整備地区の5つの重点整備地区内の生活関連施設については、新規施設、移転等により閉館した施設について更新しています。

新たな重点整備地区である新橋駅周辺重点整備地区、品川駅周辺重点整備地区については、生活関連施設選定の考え方に基づき、新たに地区内の生活関連施設、生活関連経路を位置づけています。

今後、港区バリアフリー基本構想策定後においてもバリアフリー化を推進する中で見直しを行い、必要に応じて生活関連施設を選定し、バリアフリーのネットワークを段階的・継続的に充実させていきます。



(2) 浜松町駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

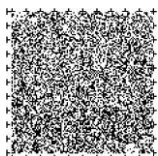
- ・浜松町駅周辺重点整備地区は港区の北東部に位置し、東側は東京港、中央区、北側は新橋駅周辺重点整備地区に接しています。
- ・国道や都道は南北方向の縦断路線が多く、東西方向は浜松町駅北口前面道路(補助4号線―大門通り、竹芝通り)といった主要道路を含めた区道により構成されています。
- ・第一京浜や日比谷通り等の国道や都道、主要な区道については、大門通りや竹芝通りの南側で電線類地中化整備や歩道拡幅ほか各種交通安全対策が実施されるなど、比較的整備が進んでいますが、生活関連経路の区道の中には、歩道設置が困難な区間や歩道の幅員が狭小な区間も含まれています。
- ・竹芝地区にダイバーシティを体験できる文化施設「ダイアログミュージアム 対話の森」が設置され、多くの高齢者、障害者等が勤務しています。

②公共交通の状況

- ・浜松町駅周辺重点整備地区内には、モノレール及び竹芝栈橋や浜松町駅、大門駅、御成門駅、芝公園駅、竹芝駅の鉄軌道駅が存在しており、他の地区に比べて陸海空の交通結節点としての区の中心的位置づけにあります。浜松町駅においては、モノレールとの連絡がされているものの、一部バスの停留所や道路との連続性の整備が不十分です。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、芝ルートの新橋駅～みなとパーク芝浦間、プラザ神明間、麻布東ルートの港区役所～麻布地区総合支所～六本木ヒルズ間で運行されています。
- ・都営バスは、浜松町駅、大門駅及び御成門駅周辺及び芝公園駅周辺で3系統がそれぞれ新橋、品川、渋谷方面間で運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・浜松町駅周辺の大部分は、御成門小学校の通学区域内となっており、南側の一部では芝小学校の通学区域も含まれています。
- ・通学路は、第一京浜や日比谷通り等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されていますが、芝小学校の一部の通学路では、歩道のない区道も含まれています。



④バリアフリー化の方向性

浜松町駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. バリアフリー未整備の駅周辺交通結節機能の強化

現状：JR浜松町駅では、モノレール浜松町駅との乗り換え、芝浦方面へ連絡する歩行者デッキがありますが、南口のバスの停留所や道路へのバリアフリー化が不十分など、バリアフリー未整備の駅周辺の交通結節機能の強化が必要です。

取組：開発事業者、旅客施設やバスターミナル等の交通事業者の協力を得ながら計画的にバリアフリー化を検討します。

2. 歩道未整備区間の歩行空間の確保

現状：南北方向の幹線道路（第一京浜、日比谷通り、海岸通り）が整備されており、日常的な移動に使われている区道についても、おおむね歩道のバリアフリー化が整備されていますが、歩道が狭いあるいは歩道が無く設置が難しい道路も存在しています。

取組：沿道関係者の協力も得ながらハード・ソフト両面での計画的なバリアフリー化を検討します。

3. ユニバーサルデザインの考え方に基づく案内サインの整備

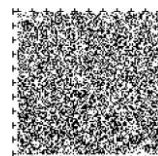
現状：浜松町駅周辺は、陸海空の交通結節点であるだけでなく、ビジネスタウンの玄関口でもあり、周辺には増上寺や東京タワー等の観光資源が点在するため、地元の地理や道に不案内な観光客等の来街者も多く、有効な情報提供が必要な地区です。

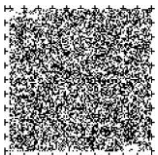
取組：観光客や外国人等をはじめ、誰にでもわかりやすい案内サイン等の整備の充実を図ります。

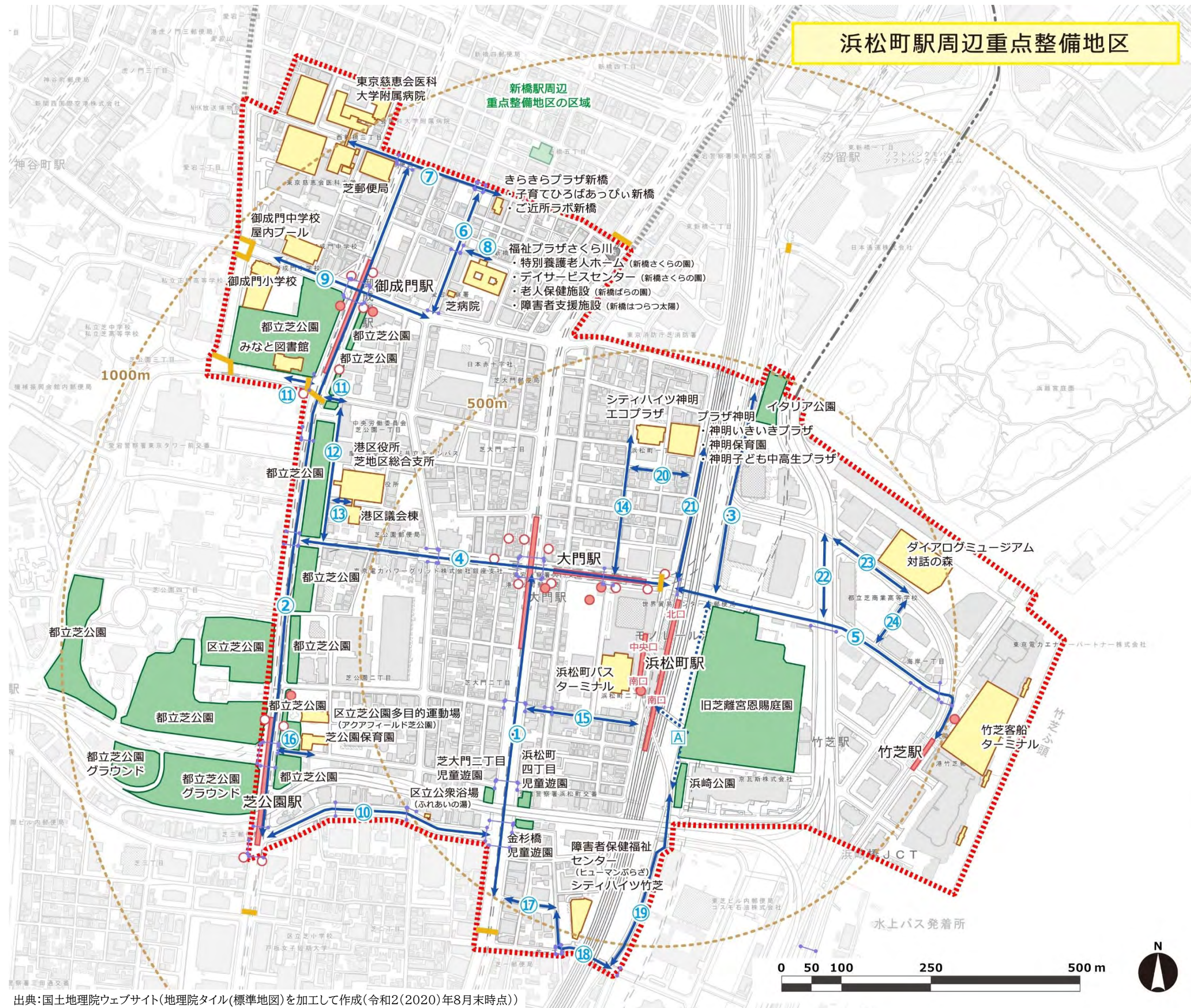
4. 高齢者、障害者等が活動する施設への経路のバリアフリー化

現状：竹芝地区に高齢者、障害者等が活動する文化施設「ダイアログミュージアム 対話の森」が設置され、施設までの経路のバリアフリー化が求められています。

取組：施設までの経路に対して視覚障害者誘導用ブロックの整備、音響式信号機やエスコートゾーン等の整備を推進します。





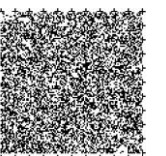


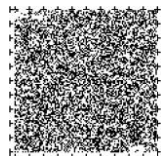
《凡例》

- 重点整備地区の区域
- 生活関連施設（建築物）
- 生活関連施設（公園）
- 特定旅客施設
- 地下鉄出入口
- エレベーター
- 生活関連経路
- 音響式信号機
- 横断歩道橋

《生活関連経路》

- ①一般国道 15号線（第一京浜）
- ②特例都道 409号線（日比谷通り）
- ③特例都道 481号線（補助313号線）
- ④特別区道 第1021・1102号線（大門通り）
- ⑤特別区道 第1102・1019号線他（竹芝通り）
特例都道 481号線
- ⑥特別区道 第1006号線（赤レンガ通り）
- ⑦特別区道 第1016号線
- ⑧特別区道 第1148号線
- ⑨特別区道 第1018号線
- ⑩特別区道 第1022号線
- ⑪特別区道 第814号線
- ⑫特別区道 第785号線
- ⑬特別区道 第148号線
- ⑭特別区道 第167号線
- ⑮特別区道 第817号線
- ⑯特別区道 第818号線
- ⑰特別区道 第192号線
- ⑱特別区道 第191・196号線
- ⑲特別区道 第1094号線
- ⑳特別区道 第163号線
- ㉑特別区道 第1151号線 他
- A浜松町歩行者デッキ
- ㉒主要地方道 316号線
- ㉓特例都道 481号線
- ㉔特別区道 第810号線

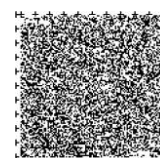




⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 浜松町駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	浜松町駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	大門駅	
	御成門駅	
	芝公園駅	
	竹芝駅	
	浜松町バスターミナル	
	竹芝客船ターミナル	
官公庁	港区役所	港区行政の総合調整、各地区総合支所の事務を総合的に支援
	芝地区総合支所	地域における課題解決及び身近な区民サービスの拠点
	港区議会棟	区的意思を決定する議決機関
福祉施設	きらきらプラザ新橋	福祉施設「きらきらプラザ新橋」乳幼児から高齢者までが集う複合施設(子育てひろばあっぱい新橋等)
	プラザ神明	複合施設(神明いきいきプラザ、神明保育園、神明子ども中高生プラザ)
	芝公園保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	特別養護老人ホーム(新橋さくらの園)	「福祉プラザさくら川」内、日常生活で常時介護を必要とし、かつ居宅で介護を受けることが困難な高齢者が入居して生活する施設
	デイサービスセンター(新橋さくらの園)	「福祉プラザさくら川」内、要介護者を居宅から通所介護施設まで送迎し、機能訓練(リハビリ)やレクリエーション、入浴や食事介助等の介護サービスを行う施設
	老人保健施設(新橋ばらの園)	「福祉プラザさくら川」内、病状の安定した高齢者にリハビリテーション、日常生活の介護などのサービスを行い、家庭復帰をめざす施設
	障害者支援施設(新橋はつらつ太陽)	「福祉プラザさくら川」内、18歳以上の知的障害者を入所若しくは通所させ、障害者が自立し地域で社会生活を行なえるよう支援または訓練する施設
	障害者保健福祉センター(ヒューマンぷらざ)	障害のある区民に対する各種相談、通所指導、機能訓練や障害者が自立して生活するための支援事業、施設の貸し出し等を実施
医療施設	東京慈恵会医科大学附属病院	救急指定病院 港区では唯一の特定機能病院(高度な医療を提供や医療技術を開発、医療研修の実施が趣旨)
	芝病院	一般病院



種別	施設名	概要
文化施設	みなと図書館	行政資料や郷土資料のほか、CD・ビデオ等の視聴覚資料、外国人居住者のために洋書や外国語の絵本等も蔵書
	ダイアログ・ミュージアム 対話の森	視覚障害者や聴覚障害者、高齢者の案内のもと、エンターテイメントを通し人が出会い遊び、ダイバーシティを体感するミュージアム
公園	都立芝公園	面積 122,501.09 m ² 上野、浅草、深川、飛鳥山とともに明治 6 (1873) 年に日本で最初の公園として指定された最も古い公園の一つ、野球場とテニスコートも配備
	旧芝離宮恩賜庭園	面積 43,175.36 m ² 小石川後楽園とともに、今に残る江戸初期の大名庭園、大正 13 (1924) 年東京市に下賜され、昭和 54 (1979) 年に「文化財保護法」による国の「名勝」に指定
	区立芝公園	面積 13,522.06 m ² 総合公園
	イタリア公園	面積 3,660.02 m ² 「日本におけるイタリア 2001 年」を記念し同国から寄贈された公園で本格的なイタリア式庭園の外観を持つ施設
	浜崎公園	面積 633.41 m ²
	芝大門二丁目児童遊園	面積 362.60 m ²
	金杉橋児童遊園	面積 384.56 m ²
	浜松町四丁目児童遊園	面積 428.86 m ² 運動施設
運動施設	区立芝公園多目的運動場 (アクアフィールド芝公園)	夏はプール、その他の期間は可動床を上げてフットサル等の利用ができる施設
	御成門中学校屋内プール	屋内温水プールを通年にわたり開放
公共公益サービス施設	芝郵便局	郵便業務全般(時間外窓口も設置)のほか、貯金、保険、外貨両替・トラベラーズチェック、投資信託、国際送金も取り扱う
	区立公衆浴場 (ふれあいの湯)	地上 4 階建てで男女湯のほか、休憩室を設置
	エコプラザ	平成 20 (2008) 年開設区民向け住宅シティハイツ神明併設地域の情報や地球規模での環境についての学習、交流、情報交換の場
	シティハイツ神明	区民向け住宅 (エコプラザ併設)
	シティハイツ竹芝	区民向け住宅 (障害者保健福祉センター(ヒューマンぱらど)併設)
小・中学校	御成門小学校	特別支援学級を設置
	御成門中学校	区内在住・在勤者に校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放

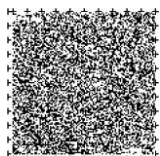
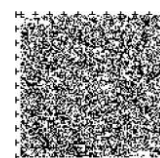


表 浜松町駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 15 号線 （第一京浜）	大門駅 浜松町四丁目児童遊園 芝大門二丁目児童遊園 金杉橋児童遊園	有		○
②	特例都道 409 号線 （日比谷通り）	御成門駅 芝公園駅 芝公園 芝郵便局	有		
③	特例都道 481 号線 （補助 313 号線）	浜松町駅 イタリア公園 旧芝離宮恩賜庭園	有	○	
④	特別区道 第 1021・1102 号線（大門通り）	浜松町駅 大門駅 芝公園	有	○	○
⑤	特別区道 第 1102・1019 号線他（竹芝通り） 特例都道 481 号線（一部）	浜松町駅 竹芝駅 旧芝離宮恩賜庭園 竹芝客船ターミナル	有	○	○
⑥	特別区道 第 1006 号線 （赤レンガ通り）	芝病院 福祉プラザさくら川	有		
⑦	特別区道 第 1016 号線	慈恵医大病院、芝郵便局 きらきらプラザ 新橋	有		
⑧	特別区道 第 1148 号線	福祉プラザさくら川	有		
⑨	特別区道 第 1018 号線	御成門駅 御成門中学校 御成門小学校 芝公園	有		
⑩	特別区道 第 1022 号線	芝公園駅、ふれあいの湯	有		○
⑪	特別区道 第 814 号線	芝公園、みなと図書館	有		○
⑫	特別区道 第 785 号線	港区役所、芝公園	有		
⑬	特別区道 第 148 号線	港区役所 港区議会棟	有		
⑭	特別区道 第 167 号線	エコプラザ シティハイツ神明	有		
⑮	特別区道 第 817 号線	浜松町駅	有	○	○
⑯	特別区道 第 818 号線	芝公園保育園 芝公園	有		
⑰	特別区道 第 192 号線	ヒューマンぶらざ シティハイツ竹芝	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

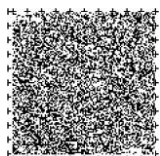
※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
⑮	特別区道 第 191・196 号線	ヒューマンぷらざ シティハイツ竹芝	有		
⑯	特別区道 第 1094 号線	浜崎公園	有		
⑰	特別区道 第 163 号線	生活関連経路の回遊性の確保	無		
⑱	特別区道 第 1151 号線 他	浜松町駅、プラザ神明	有		
A	浜松町歩行者デッキ	浜松町駅 浜崎公園	有		
⑳	主要地方道 316 号線	ダイアログ・ミュージアム 対 話の森	有		
㉑	特例都道 481 号線	ダイアログ・ミュージアム 対 話の森	有		
㉒	特別区道第 810 号線	ダイアログ・ミュージアム 対 話の森	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(3) 赤坂駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

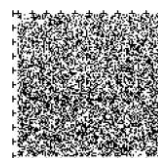
- ・赤坂駅周辺重点整備地区は港区の北部に位置し、北東側は千代田区、北側は赤坂御所、南側は六本木駅周辺重点整備地区、南東側は新橋駅周辺重点整備地区に接しています。
- ・赤坂駅周辺重点整備地区は起伏が激しく、多くの坂が存在します。
- ・青山通りや赤坂通り等の国道や都道については、電線類地中化整備や歩道拡幅ほか各種交通安全対策が実施されるなど、比較的整備が進んでいますが、区道については、歩道設置が困難な区間や歩道の幅員が狭小な区間も含まれています。

②公共交通の状況

- ・赤坂駅周辺重点整備地区内には、赤坂駅、赤坂見附駅、溜池山王駅、青山一丁目駅の鉄道駅が存在しており、赤坂駅を除く地下鉄の路線は地区の外側に集中しています。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、赤坂ルート、青山ルートが運行されています。
- ・都営バスは、六本木通りで渋谷駅～新橋駅間が高頻度で往復運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・赤坂駅周辺重点整備地区の大部分は、赤坂小学校の通学区域内となっています。将来的には設置予定の小中一貫教育校の通学路になる見込みです。
- ・通学路は、青山通りや赤坂通り等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されていますが、一部では歩道のない区道も含まれています。



④バリアフリー化の方向性

赤坂駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 数多い坂道へのバリアフリー対策

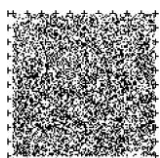
現状：起伏の激しい地域であり、急な坂道が多く存在しています。

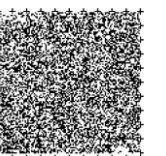
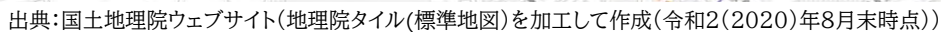
取組：休憩施設、手すり等の坂道の緩和対策を実施します。また、地域交通サービス等と連携した坂道の移動の支援をします。

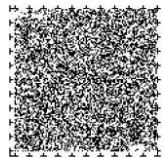
2. 歩道未整備区間のバリアフリー歩行空間の確保

現状：南北方向に幹線道路（青山通り、赤坂通り、六本木通り）が整備されていますが、日常的な移動に使われている区道は、歩道が狭い区間や歩道設置が困難な区間も多く存在します。また、幹線道路を中心に路線バス、コミュニティバスが運行されていますが、坂道のある区間のため運行が困難な状況があります。また、児童の通学路にも指定されていますが、一部歩道のない区間もあります。そのため、特に区道における安全対策を高める必要があります。

取組：沿道関係者の協力を得ながらハード・ソフト両面での計画的なバリアフリー化を検討します。



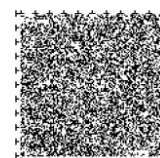




⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 赤坂駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	赤坂駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	青山一丁目駅	
	赤坂見附駅	
	溜池山王駅	
官公庁	赤坂地区総合支所	地域における課題解決及び身近な区民サービスの拠点
福祉施設	赤坂いきいきプラザ	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設
	特別養護老人ホーム (サン・サン赤坂)	日常生活で常時介護を必要とし、かつ居宅で介護を受けることが困難な高齢者が入居して生活する施設
	高齢者在宅サービスセンター (サン・サン赤坂)	通所介護等のサービスを提供する施設
	赤坂子ども中高生プラザ (プラザ赤坂なんで〜も)	児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むことを目的とした施設
	赤坂保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	南青山保育園	
医療施設	赤坂見附前田病院	一般病院
	山王病院	
公園	檜町公園	面積 16,369.88 m ² 東京ミッドタウンが隣接
	一ツ木公園	面積 4,654.01 m ²
	氷川公園	面積 3,070.84 m ² 地下に駐車場がある人工地盤の公園で平成 11 (1999) 年に再整備
	高橋是清翁記念公園	面積 5,320.62 m ² 大正から昭和初期にかけて首相、蔵相をつとめた高橋是清の邸宅跡で、昭和 16 (1941) 年に記念公園として開園、昭和 25 (1950) 年より港区が管理。日本庭園の趣をもつ施設
	円通寺坂公園	面積 1,714.72 m ²
	桑田記念児童遊園	面積 1,526.24 m ²
運動施設	健康増進センター (ヘルシーナ)	健康づくりや、生活習慣病の予防・改善のため、医師・管理栄養士・健康運動指導士のもとで、個人にあった健康トレーニングメニューの作成や各講座を実施する施設
	氷川武道場	柔道・剣道の定期練習会も開催
	赤坂小学校屋内プール	屋内温水プールを通年にわたり開放



種別	施設名	概要
公共公益サービス施設	赤坂区民センター	区民ホールを併せ持ち、講習会、音楽会、演劇等を開催、また地域活動の拠点として会議や各種サークル活動、講座等の場
	赤坂郵便局	郵便業務全般（時間外窓口も設置）のほか、貯金、保険、外貨両替・トラベラーズチェック、投資信託、国際送金も取り扱う
	シティハイツ赤坂	区民向け住宅（赤坂区民センター、健康増進センター（ヘルシーナ）併設）
	シティハイツツツ木	区民向け住宅
文化施設	赤坂図書館	地下鉄やバス停に近く、交通の便の良い図書館、広告やデザイン、食品等の周辺のビジネス環境に対応した資料収集を実施
小・中学校	赤坂小学校	区内在住・在勤者に校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放。小中一貫教育校整備中
	赤坂中学校	

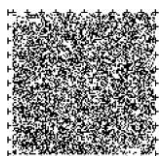
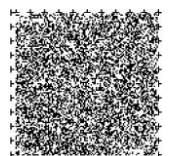


表 赤坂駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 246 号線（青山通り）	青山一丁目駅 赤坂見附駅 赤坂地区総合支所 高橋是清翁記念公園 赤坂郵便局	有	○	○
②	特例都道 319 号線（外苑東通り）	青山一丁目駅 赤坂図書館	有	○	○
③	特例都道 405 号線-1（外堀通り）	赤坂見附駅 前田病院	有	○	
④	特例都道 405 号線-2（外堀通り）	赤坂見附駅 溜池山王駅	有	○	
⑤	特例都道 413 号線（赤坂通り）	赤坂駅 赤坂小学校 赤坂中学校 一ツ木公園 桑田記念児童遊園	有		○
⑥	特別区道第 1041 号線（一ツ木通り）	赤坂駅 赤坂見附駅	有	○	○
⑦	特別区道第 1041・607 号線	赤坂駅 氷川公園 サンサン赤坂 プラザ赤坂なんでも	一部有		
⑧	特別区道第 1042 号線-1	赤坂地区総合支所 一ツ木公園 赤坂保育園	有		
⑨	特別区道第 1042 号線-2	檜町公園	有		
⑩	特別区道第 869 号線	溜池山王駅 氷川公園	有		○
⑪	特別区道第 870 号線（円通寺通り）	シティハイツ一ツ木 円通寺坂公園	無		○
⑫	特別区道第 874 号線	赤坂小学校	有		
⑬	特別区道第 604・871 号線	赤坂いきいきプラザ	一部有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(4) 六本木駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

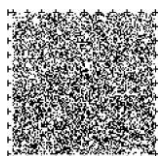
- ・六本木駅周辺重点整備地区は港区の北部に位置する有数の繁華街で、北側は赤坂駅周辺地区に接しています。
- ・六本木駅周辺重点整備地区は起伏が激しく、六本木駅、麻布十番駅、六本木一丁目駅に囲まれるエリアでは、多くの坂が存在します。
- ・六本木通り等の都道については、必要な歩道幅員もあり、比較的整備が進んでいますが、地区内には坂道が障害となる区間も多く、都道・区道とも歩道の幅員が狭小な区間も存在します。

②公共交通の状況

- ・六本木駅周辺重点整備地区内には、六本木駅、麻布十番駅、六本木一丁目駅の鉄道駅が存在しており、国際的な事業者も多く、区内においても多様な利用者が多い駅です。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、六本木ヒルズを起点として、田町ルート、赤坂ルート・青山ルート・麻布東及び麻布西ルートの多くの路線が運行されています。一方で慢性的な交通渋滞が発生している地域でもあります。
- ・都営バスは、六本木駅や六本木ヒルズを経由して、渋谷駅や新橋駅、品川駅等を結ぶ路線で多くの本数が運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・六本木駅及び六本木一丁目駅周辺は、麻布小学校の通学区域内となっており、その南側となる麻布十番駅周辺は、南山小学校の通学区域となっています。
- ・通学路は、六本木通りや外苑東通り、環状第3号線等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されています。



④バリアフリー化の方向性

六本木駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 数多い坂道へのバリアフリー対策

現状：起伏の激しい地域であり、急な坂道が多く存在しています。

取組：休憩施設、手すり、手助け標識等の坂道独自の緩和対策を実施します。また、地域交通サービス等と連携した坂道の移動の支援策を検討します。

2. ユニバーサルデザインの考え方に基づく案内サインの整備

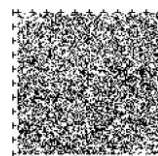
現状：六本木ヒルズ、東京ミッドタウン等の大規模開発が進み、国際色も豊かで、多くの来街者が訪れる地区であることから、誰にでもわかりやすく有効な情報提供が必要な地区です。

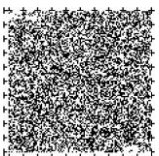
取組：来街者も含めた、誰にでもわかりやすい案内サイン等の整備を充実させます。

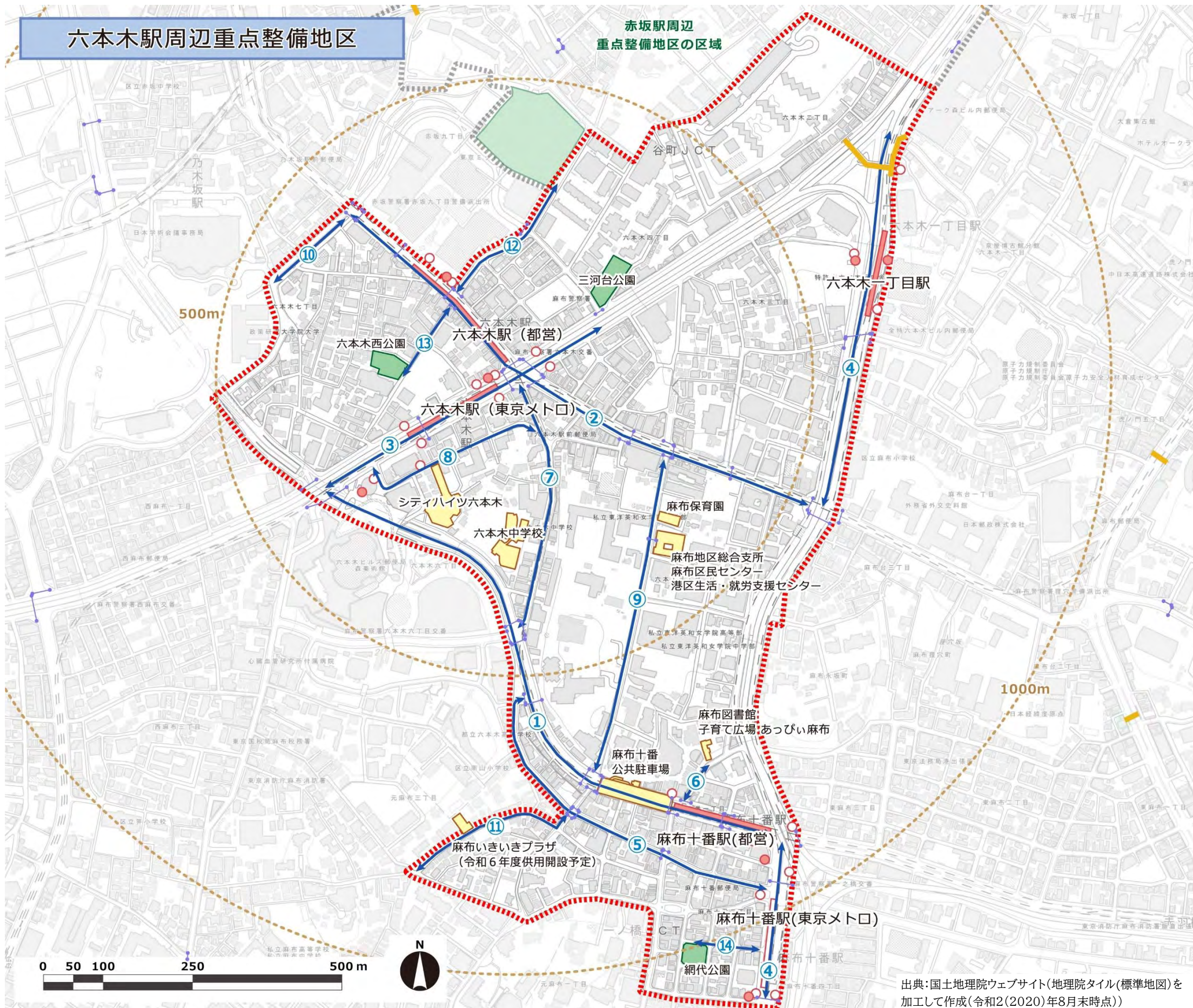
3. 再開発や街路整備との連携

現状：六本木駅、麻布十番駅、六本木一丁目駅を結ぶ幹線道路が整備されていますが日常的な移動に使われている区道については、歩道が狭い区間も存在しています。

取組：開発事業者、鉄道事業者、街路事業者との協議や協力を得ながら地区内の連続的なバリアフリー化を推進します。







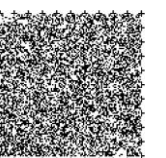
《凡例》

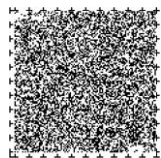
- 重点整備地区の区域
- 生活関連施設（建築物）
- 生活関連施設（公園）
- 特定旅客施設
- 地下鉄出入口
- エレベーター
- ↔ 生活関連経路
- 音響式信号機
- 横断歩道橋

《生活関連経路》

- ① 主要地方道 319号線-1（環状3号線）
- ② 主要地方道 319号線-2（外苑東通り）
- ③ 特例都道 412号線（六本木通り）
- ④ 特例都道 415号線（麻布通り）
- ⑤ 特別区道 第1022号線
- ⑥ 特別区道 第1037号線
- ⑦ 特別区道 第1104号線
- ⑧ 特別区道 第1131号線
- ⑨ 特別区道 第849号線
- ⑩ 特別区道 第852号線
- ⑪ 特別区道 第859・1038号線
- ⑫ 特別区道 第1042号線
- ⑬ 特別区道 第851号線
- ⑭ 特別区道 第992号線

出典:国土地理院ウェブサイト(地理院タイル(標準地図)を加工して作成(令和2(2020)年8月末時点))





⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 六本木駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	六本木駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	六本木一丁目駅	
	麻布十番駅	
官公庁	麻布地区総合支所	地域における課題解決及び身近な区民サービスの拠点
福祉施設	麻布いきいきプラザ	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設（令和6年度供用開設予定）
	子育てひろばあっぱい麻布	親子が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を提供し、育児に関する相談や講座の開催、子育てサークルの支援等を行う施設
	麻布保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育麻布地区総合支所に隣接
文化施設	麻布図書館	地下鉄やバス停があり、交通の便の良い図書館、併設する子育て支援施設と連携したおはなし会等のイベントの実施や、多様な外国語の資料を充実
公園	三河台公園	面積 2,588.42 m ² 開園は昭和 25（1950）年 10 月と古いが、昭和 63（1988）年 3 月に全面的に再整備、平成 25（2013）年自転車駐車場整備（地下機械式）
	六本木西公園	面積 2,186.90 m ² 郵政省の官舎として使用されていた場所を公園として整備、平成 28（2016）年 7 月全面改修
	網代公園	面積 1,358.67 m ² 子どもから高齢者まで利用できる健康器具が配置
公共公益サービス施設	麻布区民センター	区民ホールを併せ持ち、講習会、音楽会、演劇等を開催、また地域活動の拠点として会議や各種サークル活動、講座等の場
	港区生活・就労支援センター	区内在住で、経済的に困窮している、または経済的に困窮するおそれのある方を対象に生活・就労の支援を行う施設
	麻布十番公共駐車場	平成 11（1999）年開業 11,739.80 m ² 347 台収容の都市計画駐車場 隣接地に自転車 84 台、バイク 30 台収容の麻布十番自転車等駐車場を平成 27（2015）年 4 月開設
	シティハイツ六本木	区民向け住宅（平成 29（2017）年 6 月竣工）（六本木駅自転車駐車場併設（平成 28（2016）年度 6 月竣工））
小・中学校	六本木中学校	校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放

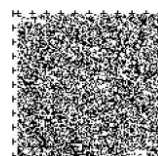
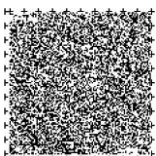


表 六本木駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	主要地方道第 319 号線-1（環状第 3 号線）	麻布十番駅 六本木中学校 麻布十番公共駐車場	有	○	
②	主要地方道第 319 号線-2（外苑東通り）	六本木駅	有	○	○
③	特例都道第 412 号線（六本木通り）	六本木駅 三河台公園	有	○	○
④	特例都道 415 号線（麻布通り）	六本木一丁目駅	有	○	
⑤	特別区道第 1022 号線	麻布十番駅	有	○	○
⑥	特別区道第 1037 号線	麻布十番駅 麻布図書館 子育て広場あっぱい麻布	有	○	
⑦	特別区道第 1104 号線	六本木駅	有	○	○
⑧	特別区道第 1131 号線	シティハイツ六本木	一部有	○	○
⑨	特別区道第 849 号線	麻布地区総合支所 麻布保育園	有	○	
⑩	特別区道第 852 号線	国立新美術館への経路の確保	有	○	
⑪	特別区道第 859・1038 号線	麻布いきいきプラザ	無		
⑫	特別区道第 1042 号線	六本木駅 檜町公園	有		
⑬	特別区道第 851 号線	六本木駅 六本木西公園	無		○
⑭	特別区道第 992 号線	麻布十番駅 網代公園	有	○	

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(5) 白金高輪駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

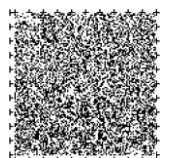
- ・白金高輪駅周辺重点整備地区は港区の南西部に位置し、北西側は麻布地区総合支所管内に、北東側で田町駅周辺重点整備地区、南東側は品川駅周辺重点整備地区に接しています。
- ・白金高輪駅周辺重点整備地区は、高輪台地に位置しており、土地の高低差があるため伊皿子坂、魚籃坂、天神坂、聖坂等の長い急坂が存在します。
- ・桜田通りや第一京浜等の国道や主要な都道については、整備が進んでいますが、生活関連経路の区道については、歩道設置が困難な区間や歩道の幅員が狭小な区間が多く含まれています。
- ・地区内には、福祉関係施設や高齢者集合住宅が多く存在しています。
- ・港区に隣接する渋谷区内の東京都立広尾病院への通院を目的とした、区民の高齢者や障害者の移動が多い状況にあります。

②公共交通の状況

- ・白金高輪駅周辺重点整備地区内には、白金高輪駅と泉岳寺駅の鉄道駅が存在しており、白金高輪駅は高輪地区総合支所のある高輪コミュニティーぷらざと直結しています。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、高輪ルートが品川駅～高輪地区総合支所～三田駅間で運行されており、利用者が増加している路線です。
- ・都営バス等の路線バスは、桜田通り(国道一号、都道415号)を経由して、東京駅～目黒駅や品川駅～新宿駅、渋谷駅～田町駅等を結ぶ路線で多くのバスが運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・白金高輪駅の西側は、主に白金の丘学園の通学区域内となっており、白金高輪駅の東側から三田方面は主に御田小学校の通学区域となっています。また、駅南側の都営高輪アパートを含む高台の地域は、高輪台小学校の通学区域となっています。
- ・通学路は、桜田通りや第一京浜等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されていますが、他の地区に比べて歩道のない区道も多く含まれています。
- ・白金高輪駅の北側(桜田通りと恵比寿通りの以北)は、各種交通安全対策工事が実施されています。



④バリアフリー化の方向性

白金高輪駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 坂道へのバリアフリー対策

現状：起伏の激しい地域であり、伊皿子坂、魚籃坂、天神坂、聖坂等の急坂が存在しています。

取組：開発等とあわせて休憩施設、手すり、手助け標識等の坂道独自の緩和対策を充実します。また、地域交通サービス等と連携した坂道の移動の支援策を検討します。

2. 歩道未整備区間のバリアフリー歩行空間の確保

現状：南北方向の桜田通りや第一京浜は整備が進んでいますが、歩道が狭いあるいは歩道が無く設置が難しい道路も存在しています。

取組：沿道関係者の協力も得ながらハード・ソフト両面での計画的なバリアフリー化を検討します。

3. 地区内の歩行環境・交通安全に対する対策

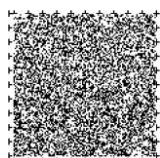
現状：福祉関連施設や高齢者集合住宅が多い白金地域に歩道設置が困難な区間や歩道の幅員が狭小な区間が多く存在しています。

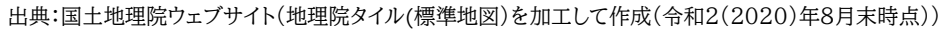
取組：周辺重点整備地区内の区道は通学路にも多く指定されており、幅員が狭く、歩道の無い区間もあるため、交通安全対策をより高めていきます。また、古川沿いの再開発等、周辺開発と連携した歩行空間を創出します。

4. 天現寺橋交差点のバリアフリー化の推進

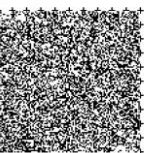
現状：昭和45(1970)年に設置された横断歩道橋は、当時のままでバリアフリー化(エレベーターの設置、通路の拡幅など)がなされていないことから、区民から平成14(2002)年、18(2006)年、22(2010)年、令和2(2020)年とバリアフリー化の要望書が提出されている状況にあります。

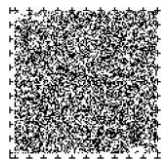
取組：横断歩道の設置や横断歩道橋へのエレベーターの設置等によるバリアフリー化について関係機関と連携し、推進していきます。





- ①一般国道 1号線（桜田通り）
- ②一般国道 15号線（第一京浜）
- ③主要地方道 305号線（恵比寿通り）
- ④特例都道 415号線-1
- ⑤特例都道 415号線-2
- ⑥特例都道 416号（明治通り）
- ⑦特別区道 第1024号線（二本榎通り）
- ⑧特別区道 第770・800号線
- ⑨特別区道 第306号線
- ⑩特別区道 第293号線
- ⑪特別区道 第298号線
- ⑫特別区道 第300号線
- ⑬特別区道 第840号線（大久保通り）
- ⑭特別区道 第330号線（四の橋通り）
- ⑮特別区道 第783号線（四の橋通り）
- ⑯特別区道 第471号線
- ⑰白金いきいきプラザ前通路
- ⑱特別区道 第770号線
- ⑲特別区道 第472号線
- ⑳特例都道 第418号線（外苑西通り）

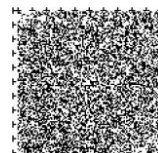




⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 白金高輪駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	白金高輪駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	泉岳寺駅	
官公庁	高輪地区総合支所	地域における課題解決及び身近な区民サービスの拠点
福祉施設	豊岡いきいきプラザ	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設
	白金いきいきプラザ	
	精神障害者支援センター(あいはと・みなと)	精神に障害のある人への日常生活や社会参加の支援・相談、オープンスペースやくつろげる場の提供、地域交流や講座・講習会等を行う施設 令和3(2021)年6月改築・運営開始
	高齢者複合施設(ニチイケアセンターしろがね)	認知症高齢者グループホーム、デイサービスセンターが併設、認知症対応型共同生活介護や訪問介護サービス、通所介護サービスを行う施設
	デイサービスセンター(なごやか白金)	高齢者在宅サービスセンターとして、介護士・看護師等が、機能訓練・入浴・レクリエーションといったサービスを提供
	デイサービスセンター(友の里三田)	
	白金保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	伊皿子坂保育園	旧志田町保育園が移転
	豊岡児童館	遊戯室、図書室、工作室等の設備を保有し、児童が自由に遊べる施設(関連団体、児童と保護者への施設開放も)
	高輪子ども中高生プラザ(TAP)	18歳未満の子どもとその保護者や関係者の幅広い世代が利用できる施設 高輪図書館分室併設
医療施設	北里研究所病院	救急指定病院
	東京都立広尾病院	救急指定病院(渋谷区内)
文化施設	高輪図書館	白金高輪駅や総合支所に隣接し、映画会やCDコンサートも行う
	高輪図書館分室	「高輪子ども中高生プラザ」の3階にあり、主に小学生から高校生までを対象とした図書館
公園	亀塚公園	面積 9,183.38 m ² 健康器具配置や関東タンポポ保全区が特色
	三田台公園	面積 4,638.40 m ² 都市計画三田台公園 伊皿子貝塚遺跡やビオトープエリア
	白金公園	面積 1,483.97 m ² 古川の護岸の親水テラス
	三田松坂児童遊園	面積 772.70 m ²
	高松くすのき公園	面積 3,639.04 m ² 旧高輪一丁目児童遊園拡張整備
	高松児童遊園	面積 544.85 m ² 都営高輪一丁アパートに隣接



種別	施設名	概要
公園	白金志田町児童遊園	面積 1,258.86 m ²
	白高児童遊園	面積 1,070.06 m ² 再開発により設置、球技エリアあり
	白金一丁目児童遊園	面積 1,137.58 m ²
運動施設	高松中学校屋内プール	屋内温水プールを通年にわたり開放
公共公益サービス施設	高輪区民センター	区民ホールを併せ持ち、講習会、音楽会、演劇等を開催、また地域活動の拠点として会議や各種サークル活動、講座等の場
	高輪郵便局	郵便業務全般のほか、貯金、外貨両替、トラベラーズチェック、投資信託、国際送金も取り扱う
	シティハイツ高輪	区民向け住宅(高輪コミュニティぷらざ併設)
	シティハイツ白金	区民向け住宅
	都営広尾五丁目アパート	都民向け住宅(渋谷区内)
小・中学校	御田小学校	校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放
	三田中学校	
	高松中学校	
	小中一貫教育校『白金の丘学園』	朝日中学校・三光小学校・神応小学校の三校を施設一体型小中一貫教育校として平成 27 (2015) 年開校
高齢者集合住宅	高齢者集合住宅(ピア白金)	高齢者向け設備を備え、緊急時の対応等を行う「生活協力員」が居住する住宅を整備
	高齢者集合住宅(はなみずき白金)	
	高齢者集合住宅(フィオーレ白金)	
	都営高輪一丁目アパート	高齢者向け居室(シルバーピア)のほか、車いす利用者向けの居室も整備

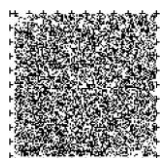
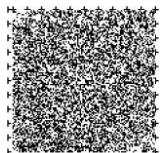


表 白金高輪駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 1 号線(桜田通り)	白金高輪駅 豊岡いきいきプラザ 精神障害者支援センター	有	○	○
②	一般国道 15 号線(第一京浜)	泉岳寺駅 高輪郵便局 友の里三田	有		○
③	特例都道 305 号線(恵比寿通り)	白金高輪駅 北里研究所病院 白金の丘学園	有	○	○
④	特例都道 415 号線-1	泉岳寺駅 伊皿子坂保育園 三田松坂児童遊園	有		
⑤	特例都道 415 号線-2	白金高輪駅 白金志田町児童遊園 高松中学校	有	○	
⑥	特例都道 416 号線（明治通り）	東京都立広尾病院 都営広尾五丁目アパート	有		
⑦	特別区道第 1024 号線（二本榎通り）	三田中学校 亀塚公園 三田台公園 都営高輪一丁目アパート	有		
⑧	特別区道第 770・800 号線	高輪コミュニティぶらざ 高輪子ども中高生プラザ シティハイツ高輪 都営高輪一丁目アパート	有		
⑨	特別区道第 306 号線	都営高輪一丁目アパート 高松児童遊園	有		
⑩	特別区道第 293 号線	白高児童遊園	有	○	
⑪	特別区道第 298 号線	白金高輪駅	有	○	
⑫	特別区道第 300 号線	白金高輪駅 ピア白金	有	○	
⑬	特別区道第 840 号線（大久保通り）	白高児童遊園	有	○	
⑭	特別区道第 330 号線（四の橋通り）	白金一丁目児童遊園 フィオーレ白金	無		○
⑮	特別区道第 783 号線（四の橋通り）	フィオーレ白金	無		○

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

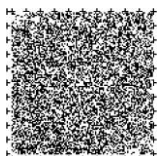
※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
⑯	特別区道第 471 号線	白金公園 はなみずき白金 ニチイケアセンター白金 北里研究所病院	無		
⑰	白金いきいきプラザ前通路	白金いきいきプラザ 白金保育園	無		
⑱	特別区道第 770 号線	高輪コミュニティぷらざ 高輪子ども中高生プラザ 高松くすのき公園	無		
⑲	特別区道第 472 号線	シティハイツ白金	無		
⑳	特例都道第 418 号線(外苑西通り)	東京都立広尾病院 都営広尾五丁目アパート	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(6) 田町駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

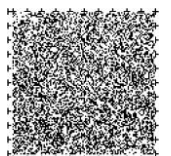
- ・田町駅周辺重点整備地区は港区の南東部に位置し、北側は芝地区総合支所管内に一部含まれ、西側は白金高輪駅周辺重点整備地区、東側は東京港に接しています。
- ・田町駅周辺重点整備地区は、平坦な地形で地区内に縦横に運河が存在しています。
- ・第一京浜や旧海岸通り、日比谷通り等の国道や都道については整備が進んでおり、区道についても田町駅西口の電線類地中化・道路整備による歩行空間の創出、放置自転車等の対策が進められています。
- ・みなとパーク芝浦の整備や駅前再開発により、地域の新たな拠点として整備されました。

②公共交通の状況

- ・田町駅周辺重点整備地区内には、田町駅と三田駅の鉄道駅が存在しており、東西自由通路と歩行者デッキのバリアフリー化、また、時間に制約があるものの民間の協力を得てエレベーターでのバリアフリー化がされています。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、田町ルートが田町駅東口～田町駅西口～六本木ヒルズ間、芝ルートがみなとパーク芝浦～田町駅西口～新橋駅間、芝浦港南ルートが田町駅東口～品川駅港南口間と3ルートが運行されています。
- ・都営バスは、JR線東側では主に田町駅東口を発着して品川駅を結ぶ路線が運行されており、JR線西側では、渋谷駅及び五反田駅を結ぶ路線が運行されています。
- ・田町駅から台場地区間をシャトルで結ぶ「お台場レインボーバス」が運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・田町駅の東口(JR線東側)の海側の地区は、芝浦小学校の通学区域内となっており、田町駅の西口(JR線西側)の三田駅側の地区は御田小学校と芝小学校の通学区域となっています。
- ・通学路は、旧海岸通り等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されています。
- ・田町駅の東口の海側の一部の地区を除き、ほとんどの地区が、電線類地中化や歩車共存道路の整備が実施されています。



④バリアフリー化の方向性

田町駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 利用しやすい道路や公園の整備

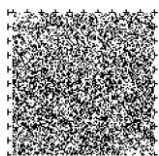
現状：みなとパーク芝浦の整備や駅前再開発により、地域の新たな拠点が整備され、周辺施設の利便性は向上しているため、施設に至る経路における利便性の向上を図る必要があります。

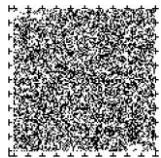
取組：誰もが快適に利用できる道路や公園の公共施設づくりをめざし、視覚障害者誘導用ブロックの連続化やベンチの設置を行うとともに、公園の水飲み・手洗場を高齢者、障害者等が利用しやすいように改善を進めます。

2. 開発計画等と一体となったバリアフリー対策

現状：田町駅と三田駅は相互の乗り換え時の円滑化を関係機関と図っていく必要があります。

取組：田町駅東西のまちづくりに伴う大規模再開発、電線類地中化整備等と連携して歩行空間の創出と鉄道駅間相互のバリアフリー空間を創出していきます。

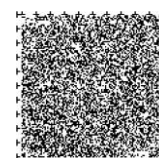




⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 田町駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	田町駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	三田駅	
官公庁	芝浦港南地区総合支所 (みなとパーク芝浦)	地域における課題解決及び身近な区民サービスの拠点
福祉施設	都立障害者福祉会館	障害者、ボランティア及び家族等の障害者の福祉の増進を目的とする関係者を対象とした福祉施設
	三田いきいきプラザ	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設
	芝浦アイランドこども園	心身の発達にあわせて保育及び幼児教育を一貫して実施する施設
	芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ(あいぷら)	児童と高齢者がふれあう機会をつくり、互いに成長することをめざす施設
	介護予防総合センター (ラクっちゃ)	区民の健康サポート、介護予防活動のサポート、研修や情報提供等を行う新しい施設。みなとパーク芝浦内に設置。
	みなと子育て応援プラザ Pokke	子どもと一緒に父母も気軽に集え、仲間づくりができる「子育てひろば」を中心に、家庭の事情にあわせて「一時預かり」「トワイライトステイ」「ショートステイ」等の子どもを預かる施設
	子育てひろばあっぱい芝浦	親子が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を提供し、育児に関する相談や講座の開催、子育てサークルの支援等を行う施設
	芝保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	しばうら保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	しばうら保育園分園	しばうら保育園 平成27(2015)年10月開設 しばうら保育園分園 平成29(2017)年4月開設(みなとパーク芝浦内)
文化施設	三田図書館	交通の便の良さから区内でもっとも利用者が多い施設であり、令和4(2022)年度開設の産業振興センター内に移転予定
公園	芝浦公園	面積 6,800 m ² 土地区画整理事業関連都市計画公園の変更整備
	プラタナス公園	面積 2,500 m ² プレーパーク事業を実施
	本芝公園	面積 4,542.41 m ² 昭和45(1970)年に運河を埋め立てて造られ、大きなクスノキやジャブジャブ池、船の遊具等が配置 都市計画公園の変更



種別	施設名	概要
公園	船路橋児童遊園	面積 858.05 m ²
	芝五丁目児童遊園	面積 1,208.80 m ² 芝保育園に隣接
運動施設	港区スポーツセンター	トレーニングルーム、武道場、競技場、プール等のスポーツ施設として生まれ変わるバリアフリーと耐震安全性を確保した施設。みなとパーク芝浦内に設置。
公共公益サービス施設	男女平等参画センター(リーブラ)	男女平等参画に関わる拠点施設。みなとパーク芝浦内に設置
	産業振興センター	区内中小企業の振興発展を図ることを目的とした商工会館と勤労者の文化・教養及び福祉の向上を目的とした港勤労福祉会館の機能を継承した新施設として令和4（2022）年度に開設予定
	消費者センター	消費生活に関する相談、情報の提供等の消費者のための総合的な施設。みなとパーク芝浦内に設置
	芝浦港南区民センター	区民ホールを併せ持ち、講習会、音楽会、演劇等を開催、また地域活動の拠点として会議や各種サークル活動、講座等の場
	シティハイツ芝浦、シティハイツ第2 芝浦	区民向け住宅
医療施設	社会福祉法人思賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院	田町駅東口北地区公共公益施設として平成27(2015)年2月開設
小・中学校	芝浦小学校	校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放
	芝浜小学校	芝浦小学校の児童数の増加に対応するため、新たにみなとパーク芝浦の旧芝生広場に新設する小学校 令和4（2022）年度開校予定

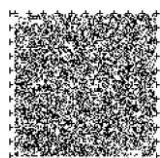
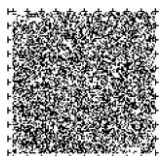


表 田町駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 15 号線(第一京浜)	三田駅 田町駅 本芝公園 産業振興センター 三田図書館	有	○	○
②	主要地方道 316 号線(旧海岸通り)	芝浦港南区民センター 芝浦小学校	有		○
③	特例都道 409 号線(日比谷通り)	三田駅 みなと子育て応援プラザ Pokke 都立障害者福祉会館 芝五丁目児童遊園	有	○	○
④	特別区道第 1024 号線	白金高輪駅周辺重点整備地区との連続性確保	有	○	○
⑤	特別区道第 1028 号線	田町駅 三田駅	有	○	○
⑥	特別区道第 1029 号線(なぎさ通り)	田町駅	有	○	○
⑦	特別区道第 1303 号線	シティハイツ芝浦 シティハイツ第2 芝浦 子育てひろばあっぱい芝浦 愛育病院 芝浦公園	有	○	
⑧	特別区道第 1172 号線	田町駅 みなとパーク芝浦	有	○	
⑨	特別区道第 1121・237 号線	芝浦アイランド プラタナス公園	有		
⑩	特別区道第 206 号線	三田駅 三田いきいきプラザ	有	○	
⑪	特別区道第 829 号線	みなとパーク芝浦 芝浦公園	有		
⑫	特別区道第 830 号線	みなとパーク芝浦 愛育病院	有		
⑬	特別区道第 837 号線	芝浦小学校 品川駅周辺重点整備地区との連続性確保	有		
⑭	新芝運河沿緑地	運河沿いの回遊性確保	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(7) 新橋駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

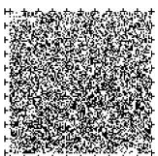
- ・新橋駅周辺重点整備地区は港区の北東部に位置し、東側は東京港、北側は千代田区、南側は浜松町駅周辺重点整備地区に接しています。
- ・国道や都道は南北方向の縦断路線が多く、東西方向は新虎通りや外堀通りといった主要道路を含めた区道により構成されています。

②公共交通の状況

- ・新橋駅周辺重点整備地区内には、新橋駅、内幸町駅、虎ノ門駅、虎ノ門ヒルズ駅の鉄軌道駅のほか、ゆりかもめや虎ノ門バスターミナルが存在しており、お台場への交通結節点となっています。虎ノ門ヒルズ駅が令和2(2020)年6月に開業し、新橋駅においては、バリアフリー化や駅の利便性の向上のための改修工事の整備が進められています。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、芝ルートの新橋駅～虎ノ門二丁目～みなとパーク芝浦間で運行されています。
- ・都営バスは、新橋駅から渋谷駅や目黒駅、スカイツリー駅、豊洲市場等を結ぶ路線で多くの本数が運行されています。また、新橋駅～渋谷駅間で深夜バスが運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・新橋駅周辺重点整備地区内の各鉄軌道駅周辺は、御成門小学校の通学区域内となっています。
- ・通学路は、第一京浜や日比谷通り等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されています。



④バリアフリー化の方向性

新橋駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 安全にわたることができる音響式信号機の設置

現状：新橋駅は利用者数が区内でも特に多い駅ですが、新橋駅周辺には音響式信号機が少ないため、音響式信号機の設置を検討する必要があります。

取組：病院や福祉施設等に向かう経路において、所管の警察署と連携し、協力しながら音響式信号機の設置の促進を図ります。

2. 周辺の開発の動向にあわせたバリアフリー化の推進

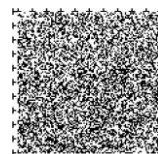
現状：虎ノ門ヒルズ駅の開業により、周辺地域の開発が進むことが想定されます。新虎通りや外堀通りといった主要道路ではバリアフリー化が進んでいますが、歩道の狭い区道のバリアフリー化が必要となっています。

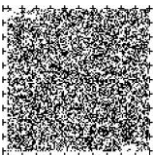
取組：新たに生活関連経路として位置づけた区道のバリアフリー化を推進するとともに、周辺開発と連携した歩行空間を創出します。

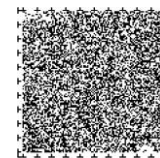
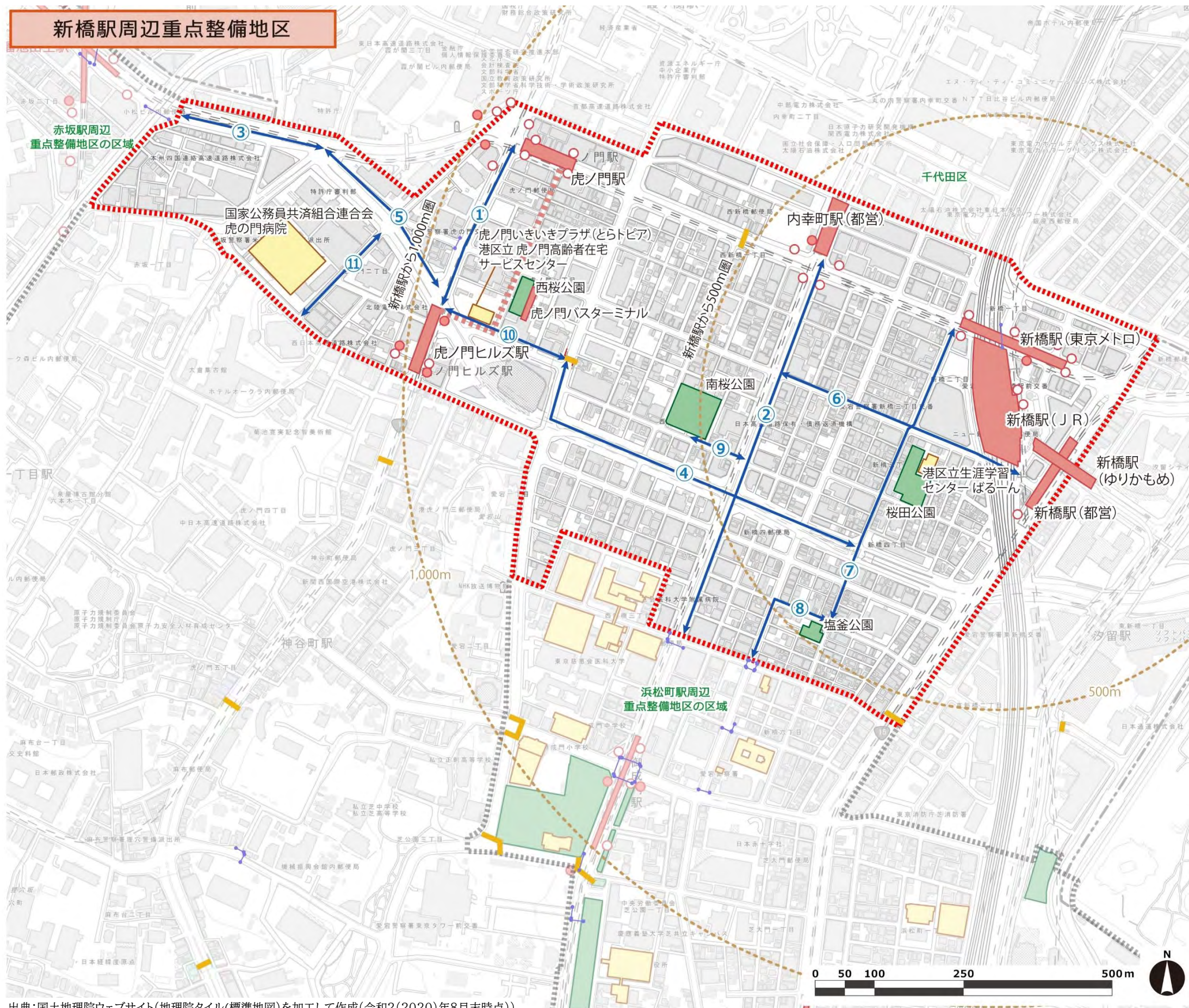
3. 地区内の歩行環境・交通安全に対する対策

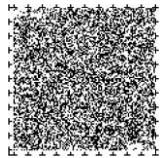
現状：新橋駅周辺では歩道上の放置自転車や看板の設置が多くあり、歩道の通行を阻害しています。

取組：新橋・虎ノ門地区のまちづくりと連携して、放置自転車対策や路上の置き看板の撤去を進めます。









⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 新橋駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	新橋駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	内幸町駅	
	虎ノ門駅	
	虎ノ門ヒルズ駅	虎ノ門ヒルズ駅 令和2（2020）年6月開業
	虎ノ門バスターミナル（BRT）	虎ノ門バスターミナル 令和2（2020）年6月開業
福祉施設	虎ノ門いきいきプラザ（とらトピア）	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設
	虎ノ門高齢者在宅サービスセンター	通所介護等のサービスを提供する施設
公園	桜田公園	面積 2,671.07 m ² 東京市により昭和6（1931）年に開設され、昭和25（1950）年10月1日付で東京都より港区が移管を受け、管理
	南桜公園	面積 5,218.86 m ² 小学校の名残である二宮尊徳像や石碑、石段等が残っており、災害時にはトイレとして利用できるベンチ等を設置
	西桜公園	面積 1,150.01 m ² 多様な桜を植栽しており、地区周辺の歩行者及び緑のネットワークの形成のため、階段形状となった修景・休憩施設を設置
	塩釜公園	面積 841.97 m ² 昭和59（1984）年に全面的に造り換えられ、石のモニュメントや木製遊具を設置
公共公益サービス施設	生涯学習センター（ばるーん）	区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習社会を実現していくために設置
医療施設	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	救急指定病院

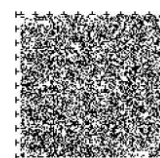
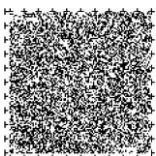


表 新橋駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 1 号線(桜田通り)	虎ノ門駅 虎ノ門ヒルズ駅 虎ノ門高齢者在宅サービスセンター	有		○
②	特例都道 409 号線（日比谷通り）	内幸町駅	有		○
③	特例都道 405 号線-1(外堀通り)	赤坂駅周辺重点整備地区との連続性確保	有		
④	特例都道街路環状第 2 号線（新虎通り） 特例都道 301 号線（愛宕通り）	虎ノ門ヒルズ駅 虎ノ門バスターミナル	有		○
⑤	特例都道街路環状第 2 号線（新虎通り）	赤坂駅周辺重点整備地区との連続性確保			
⑥	特別区道第 1012 号線	新橋駅 生涯学習センター（ばるーん） 桜田公園	有	○	○
⑦	特別区道第 1005 号線	新橋駅 生涯学習センター（ばるーん） 桜田公園 塩釜公園	有	○	○
⑧	特別区道第 1015 号線 特別区道第 1006 号線	塩釜公園	有		○
⑨	特別区道第 1013 号線	南桜公園	有		○
⑩	特別区道第 1013 号線	西桜公園	有		
⑪	特別区道第 1009 号線	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



(8) 品川駅周辺重点整備地区

①地勢、生活関連施設・経路等の状況

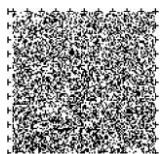
- ・品川駅周辺重点整備地区は港区の南部に位置し、北東側は田町駅周辺重点整備地区、北西側は白金高輪駅周辺重点整備地区、南側は品川区に接しています。
- ・品川駅周辺重点整備地区の品川駅の高輪口側は高輪台地に位置しており、土地の高低差があるため、桂坂や柘榴坂等の長い急坂が存在します。また、放置自転車対策が進められています。品川駅より港南口側は平坦な地形で南北に運河が存在しています。
- ・桜田通りや第一京浜等の国道や海岸通り等の主要な都道については、整備が進んでおり、品川駅より港南口側では電線類地中化が実施された歩道が整備されています。一方で、品川駅の高輪口側の生活関連経路の区道については、一部、歩道設置が困難な区間や歩道の幅員が狭小な区間が存在しています。

②公共交通の状況

- ・品川駅周辺重点整備地区内には、品川駅と高輪ゲートウェイ駅、高輪台駅の鉄道駅が存在しています。品川車両基地により、東西で分断されていますが、令和2(2020)年3月の高輪ゲートウェイ駅の開業に伴う駅周辺の開発により道路や歩行空間の新たなネットワークの整備が進められています。
- ・港区のコミュニティバス「ちいばす」は、高輪ルートが田町駅西口～品川駅高輪口～芝浦中央公園入口間、芝浦港南ルートが田町駅東口～品川駅港南口間で運行されています。
- ・都営バスは、品川駅から田町駅や五反田駅、目黒駅、天王洲アイル駅、六本木ヒルズ、大井競馬場前、新宿駅西口等、区内外の多様な地域を結ぶ路線で多くの本数が運行されています。また、品川駅～八潮パークタウン間で深夜バスが運行されています。
- ・品川駅から台場地区間をシャトルで結ぶ「お台場レインボーバス」が運行されています。

③通学路等の交通安全に関する指定状況

- ・品川駅の港南口側の芝浦港南地区総合支所管内の地区は、港南小学校の通学区域内となっており、品川駅の高輪口側の高輪地区総合支所管内の地区は高輪台小学校の通学区域となっています。
- ・通学路は、旧海岸通り等の幹線道路のほか、歩道が設置されている区道を中心に指定されています。
- ・品川駅の港南口側の多くの歩道は、電線類地中化の整備が実施されています。



④バリアフリー化の方向性

品川駅周辺重点整備地区のバリアフリー化に関する課題解決に向けた整備の方向性を以下に示します。

1. 数多い坂道へのバリアフリー対策

現状：品川駅の高輪口側は、起伏の激しい地域であり、急な坂道が多く存在しています。

取組：休憩施設、手すり等の坂道の緩和対策を実施します。また、地域交通サービス等と連携した坂道の移動を支援します。

2. 鉄道路線を挟んだ東西の移動手段の整備を推進

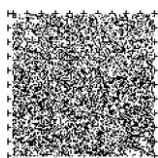
現状：品川車両基地により東西方向の移動の困難性が指摘されていますが、高輪ゲートウェイ駅の開業に伴い、新たな道路整備や周辺地域の開発が進められています。

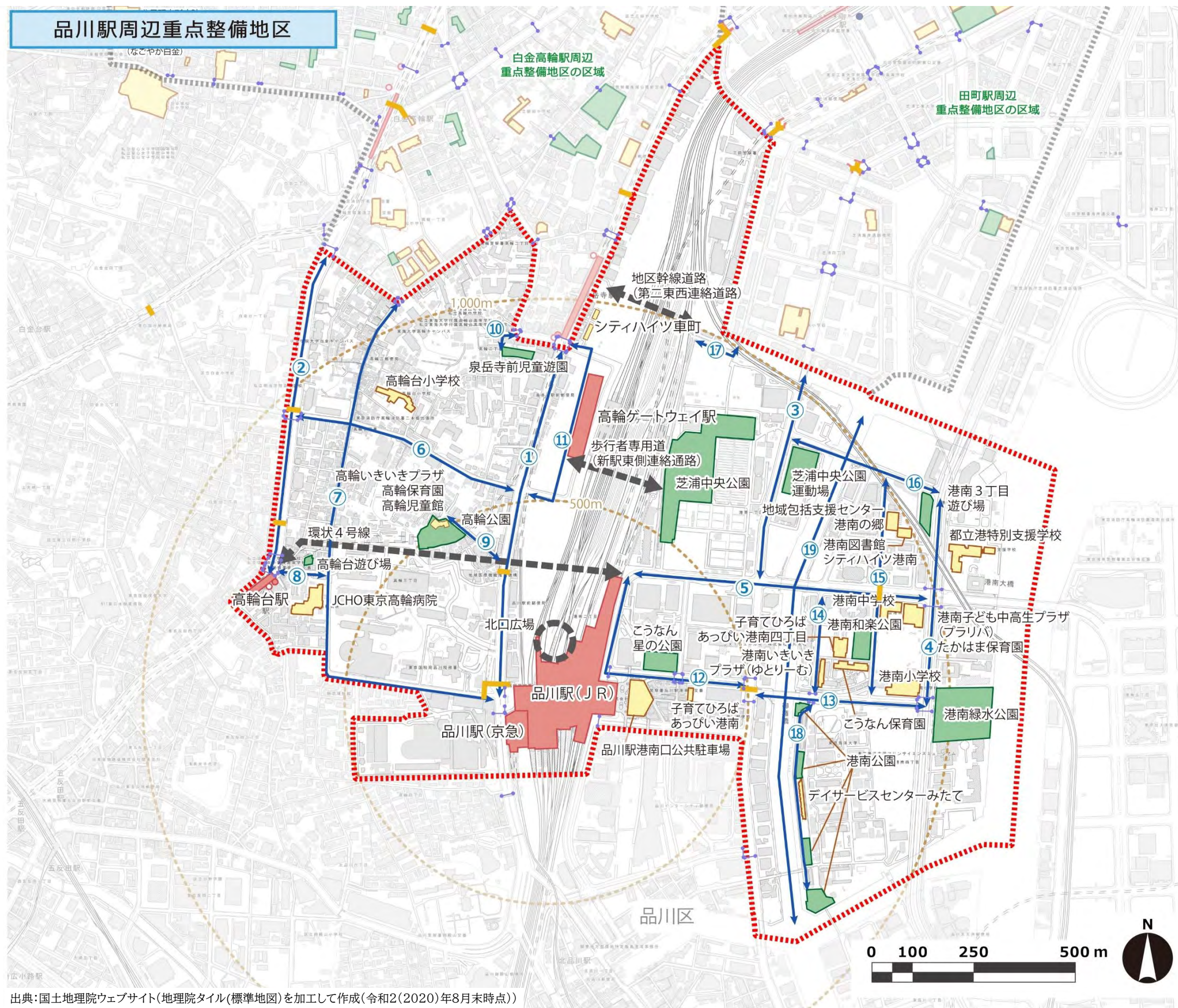
取組：新たに生活関連経路として位置づけた区道のバリアフリー化を推進するとともに、周辺開発と連携した歩行空間を創出します。また、高齢者・障害者等の移動の利便性について、新たな交通サービスを地域や総合支所、交通事業者と協働し、検討していきます。

3. 親水性を高める水辺沿いのバリアフリー化の向上

現状：品川駅の港南口側は、生活関連経路において、バリアフリーの整備が進んでいる地域ですが、運河沿い等では、幅員が狭い歩道等があります。

取組：運河沿いの歩道のバリアフリー化を推進するとともに、誰もが水辺にアクセスのしやすい遊歩道を整備し、親水性を高めます。





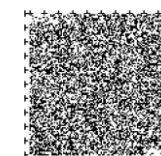
出典:国土地理院ウェブサイト(地理院タイル(標準地図)を加工して作成(令和2(2020)年8月末時点))

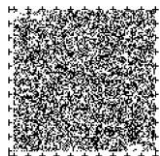
《凡例》

- 重点整備地区の区域
- 生活関連施設(建築物)
- 生活関連施設(公園)
- 特定旅客施設
- 地下鉄出入口
- エレベーター
- 生活関連経路
- 音響式信号機
- 横断歩道橋

《生活関連経路》

- ① 一般国道15号線(第一京浜)
- ② 一般国道1号線(桜田通り)
- ③ 主要地方道316号線(旧海岸通り)
- ④ 主要地方道316号線(海岸通り)
- ⑤ 特例都道480号線(品川埠頭線)
- ⑥ 特別区道第1048号線(桂坂)
- ⑦ 特別区道第1051号線(柘榴坂)
- ⑧ 特別区道第1050号線
- ⑨ 特別区道第320号線
- ⑩ 特別区道第314号線
- ⑪ 特別区道第317号線
- ⑫ 特別区道第1193号線
- ⑬ 特別区道第1194号線
- ⑭ 特別区道第243号線
- ⑮ 特別区道第1164号線
- ⑯ 特別区道第897号線
- ⑰ 特別区道第898号線
- ⑱ 特別区道第895号線
- ⑲ 特別区道第1119号線
- ⑳ 特別区道第1098号線
- ㉑ 高浜運河沿緑地

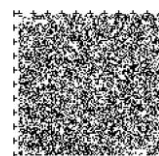




⑤生活関連施設、生活関連経路の一覧

表 品川駅周辺重点整備地区の生活関連施設一覧表

種別	施設名	概要
旅客施設	品川駅	1日当たりの平均的な利用者の人数が3,000人以上の旅客施設
	高輪台駅	
	高輪ゲートウェイ駅	高輪ゲートウェイ駅 令和2（2020）年3月開業
福祉施設	子育てひろばあっぱい港南	親子が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を提供し、育児に関する相談や講座の開催、子育てサークルの支援等を行う施設
	子育てひろばあっぱい港南四丁目	
	こうなん保育園	保護者が仕事や病気等の事情により日中家庭で児童保育できないとき、保護者に代わって児童を保育
	たかはま保育園	
	高輪保育園	
	高輪児童館	遊戯室、図書室、工作室等の設備を保有し、児童が自由に遊べる施設(関連団体、児童と保護者への施設開放も)
	港南いきいきプラザ（ゆとりーむ）	高齢者の生きがい、健康づくりを支援するとともに、区民の相互交流と自主的な活動を促進するための施設
	高輪いきいきプラザ	
	港南子ども中高生プラザ（プラリバ）	児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むことを目的とした施設
	特別養護老人ホーム（港南の郷）	「港南の郷」内、日常生活で常時介護を必要とし、かつ居宅で介護を受けることが困難な高齢者が入居して生活する施設
	高齢者在宅サービスセンター（港南の郷）	「港南の郷」内、通所介護等のサービスを提供する施設
	ケアハウス（港南の郷）	「港南の郷」内、居宅において生活することが困難な高齢者の健やかな生活の維持を図り、福祉の増進に寄与する施設
文化施設	地域包括支援センター（港南の郷）	「港南の郷」内、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する施設
	デイサービスセンターみたて	要介護者を居宅から通所介護施設まで送迎し、機能訓練(リハビリ)やレクリエーション、入浴や食事介助等の介護サービスを行う施設
	港南図書館	港区政 50 周年記念事業として、シティハイツ港南に開設



種別	施設名	概要
公園	港南緑水公園	面積 20,206.35 m ² はらっぱ広場や四季を楽しめる緑のほか、噴水や自然観察池といった水や生きものとふれあえる施設、マンホールトイレ、かまどベンチ、利水槽等災害に対応する施設、ドッグランを整備
	こうなん星の公園	面積 2,150.38 m ² 地下には自転車駐車場を整備
	芝浦中央公園	面積 45,781.97 m ² 東京都下水道局芝浦水再生センター内の曝気槽の上部に設置された人工地盤の公園、芝浦中央公園運動場併設
	港南公園	面積 6,077.29 m ² 運河沿いに設置された A 面・B 面・C 面・D 面の 4 つの部分からなる公園
	港南和楽公園	面積 3,800.82 m ² 小さな子どもからお年寄りまで、和やかに楽しく利用できる公園として、広場や 2 基の複合遊具やスプリング遊具を設置
	高輪公園	面積 5,958.11 m ² ケヤキやコナラの木、池やあずま屋等がある緑豊かな公園で、投球場を設置
	泉岳寺前児童遊園	面積 1,892.39 m ²
	港南 3 丁目遊び場	面積 3,001.58 m ² 夏期に水遊びができる噴水や、複合遊具、築山があり、ボール遊びができる広場を設置
	高輪台遊び場	面積 527 m ² 高輪管内でも比較的広い遊び場であり、多くの遊具を設置
運動施設	港南小学校屋内プール	屋内温水プールを通年にわたり開放
公共公益サービス施設	品川駅港南口公共駐車場	平成 13 (2001) 年開業 8,844.33 m ² 自動車 137 台、バイク 9 台収容の都市計画駐車場
	シティハイツ車町	区民向け住宅
	シティハイツ港南	区民向け住宅 (港南図書館併設)
医療施設	JCHO 東京高輪病院	救急指定病院
小・中学校	港南中学校	校庭・体育館・教室等を学校教育に支障のない範囲で開放
	港南小学校	
	高輪台小学校	
	都立特別支援学校	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者及び病弱者 (身体虚弱者を含む) を対象とし、障害の状態に応じた教育を実施

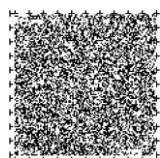
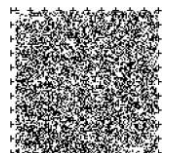


表 品川駅周辺重点整備地区の生活関連経路一覧表

生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
①	一般国道 15 号線(第一京浜)	品川駅 高輪ゲートウェイ駅 泉岳寺駅	有	○	○
②	一般国道 1 号線(桜田通り)	高輪台駅 白金高輪駅周辺重点整備地区との連続性確保	有		
③	主要地方道 316 号線(旧海岸通り)	芝浦中央公園運動場	有		
④	主要地方道 316 号線(海岸通り)	港南子ども中高生プラザ（プラリバ） 港南緑水公園 港南 3 丁目遊び場 都立港特別支援学校 港南小学校	有		
⑤	特例都道 480 号線（品川埠頭線）	芝浦中央公園 港南子ども中高生プラザ（プラリバ） 港南中学校	有	○	
⑥	特別区道第 1048 号線（桂坂）	高輪台小学校	有		
⑦	特別区道第 1051 号線（柘榴坂） 特別区道第 1024 号線	JCHO 東京高輪病院	有	○	
⑧	特別区道第 1050 号線	高輪台駅 高輪台遊び場	無		
⑨	特別区道第 320 号線	高輪いきいきプラザ 高輪保育園 高輪児童館 高輪公園	有		
⑩	特別区道第 314 号線 特別区道第 317 号線	泉岳寺前児童遊園	有		
⑪	特別区道第 1193 号線 特別区道第 1194 号線	高輪ゲートウェイ駅	有		
⑫	特別区道第 243 号線	品川駅 こうなん星の公園 子育てひろばあっぴい港南	有	○	
⑬	特別区道第 1164 号線	港南小学校 港南公園 港南緑水公園	有	○	

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路



生活関連経路		生活関連施設等	歩道	自転車放置禁止区域※1	商店街、繁華街等※2
番号	経路（通称名）				
⑭	特別区道第 897 号線	子育てひろばあっぱい港南四丁目 港南いきいきプラザ（ゆとりーむ）	有		
⑮	特別区道第 898 号線	港南和楽公園 港南図書館 港南の郷 港南小学校 こうなん保育園 港南中学校	有		
⑯	特別区道第 895 号線	港南 3 丁目遊び場 芝浦中央公園運動場	有		
⑰	特別区道第 1119 号線	第二東西連絡道路への接続	有		
⑱	特別区道第 1098 号線	デイサービスセンターみたて 港南公園	有		
⑲	高浜運河沿緑地	運河沿いの回遊性の確保	有		

※1 特に放置自転車対策をするべき経路は自転車放置禁止区域にある経路

※2 特に不法占用物件の排除するべき経路には商店街、繁華街等にある経路

